

ユーザース・マニュアル

UPS用オプションアクセサリ

Super Power、Super Tower 用
ネットワーク管理システム
YENetAgent

第 1.3 版 2013 年 08 月 01 日

ごあいさつ

このたびは、弊社のUPS用オプションアクセサリ(Super Power シリーズ、SuperTower シリーズ用拡張ボード)をお求めいただき、まことにありがとうございます。

本製品を安全にお使いいただくために、ご使用前にこの「マニュアル」を最後までよくお読みください。特に、設置方法や取扱いを誤ると、火災やケガなどの原因になることがありたいへん危険です。安全上の注意事項は必ずお守りのうえ、正しくご使用ください。

また、お読みになったあとは、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 株式会社ユタカ電機製作所の許可なく複製・改変などをおこなうことはできません。
- ④ 本書の内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社営業にご連絡ください。
- ⑤ 運用した結果の影響については④項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標について

記載の会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

<海外でのご使用について>

この装置は、日本国内での使用を前提としているため、海外各国での安全規格等の適用を受けていません。従って、この装置を輸出した場合に該当国での輸入通関および使用に対し罰金、事故による補償等の問題が発生することがあっても、弊社は直接・間接を問わず一切の責任を免除させていただきます。

安全に関する注意

安全にかかわる表示について

本製品を安全に正しくお使いいただくためにこのマニュアルの指示に従って操作してください。
このマニュアルには本製品のどこが危険か、指示を守らないとどのような危険に遭うか、どのようにすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。

マニュアルでは、危険の程度を表す言葉として「危険」、「警告」、「注意」という用語を使用しています。
それぞれの用語は次のような意味をもつものとして定義されています。



危険 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。



警告 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合、ならびに軽傷または物的損害が発生する頻度が高い内容を示しています。








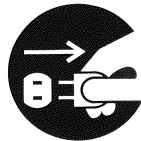
注意 この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が重傷を負う可能性は少ないが、軽傷を負う危険が想定される内容、ならびに物的損害の発生が想定される内容を示しています。

上に述べる重傷は、失明、けが、やけど、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、ならびに治療のために入院や長期通院を要するものをいいます。

軽傷とは、重傷に該当しないけが、やけど、感電などをいいます。

物的損害とは、家屋・家財などに関わる拡大損害をいいます。

危険に対する注意、表示は次の三種類の記号を使ってあらわしています、それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

	<p>注意の喚起</p>	<p>この記号は指示を守らないと危険が発生するおそれがあることを示します。記号の中の絵表示は危険の内容をの図案化したものです。</p>	<p>(例)</p>  <p>(感電注意)</p>
	<p>行為の禁止</p>	<p>この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。</p>	<p>(例)</p>  <p>(火気厳禁)</p>
	<p>行為の強制</p>	<p>この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。</p>	<p>(例)</p>  <p>(プラグを抜け)</p>

また、次のような記号を使って本製品の取り扱いに関する危険や注意を示しています。

 <p>誤った取り扱いによって、発煙や発火の可能性があることを示しています。</p>	 <p>安全のために、風呂場、シャワーなど水場の使用を禁止することを示しています。</p>
 <p>誤った取り扱いによって、感電する可能性があることを示しています。</p>	 <p>安全のために、その行為を強制することを示しています。</p>
 <p>安全のために、本装置の分解を禁止することを示しています。</p>	 <p>安全のために、電源コードのプラグを必ず抜くように指示するものです。</p>
 <p>安全のために、火気の使用を禁止することを示しています。</p>	 <p>安全のために、接地(アース)線を必ず接続するよう指示するものです。</p>
 <p>誤った取り扱いによって回転物によるけがを負うおそれがあることを示しています。</p>	

安全上のご注意

本製品を安全に使用していただくために、ここで説明する注意事項を必ずお読みください。注意事項を無視した取り扱いを行うと、装置が故障するばかりでなく、死亡・けが・やけど・感電などの人体事故、火災・周囲の機器の損傷を引き起こす原因となることがあります。

無停電電源装置(UPS)の使用目的と制限

無停電電源装置(UPS)は一般事務室における事務処理用として開発されたものです。

同様に、UPS用オプションアクセサリに関するも一般事務室における事務処理用として開発されています。

したがって以下のような用途には使用しないでください。

- ・人体／生命に重大な影響を及ぼすような医療機器の制御
- ・きわめて高度な信頼性を要求される原子力／航空宇宙機器などの制御
- ・工作機械の制御
- ・交通機関(電車や自動車など)の制御や管制

潜在リスクについて

本装置の潜在リスクについて

潜在リスクとは、ここではこの製品の性格上考えられる人体／生命への影響のことをいいます。

本製品には次のようなリスクが考えられます。

- ・感電事故
- ・短絡(ショート)事故や、発熱による火災

装置から放射される電磁波の影響

本製品に限らず、情報処理装置と呼ばれるものはその動作原理により装置から電磁波を放射します。現在の技術では、装置から放射される電磁波を完全にシャットアウトすることはできません。

特に電波によるリモートコントロールを行っている機械の近くで本装置を使用した場合、機器の誤動作の原因となります。

このような機器のそばで本製品をお使いになる場合は、UPS 本体装置を含めて、電磁シールドなどの対策を講ずる必要があります。

使用上、取扱上の注意事項

マニュアル(本書)をよくお読みになり、誤った使用をしないようにしてください。

また、「危ない」と感じたときはUPS 本体装置を停止し、入力ケーブルをコンセントから抜いてください。

本製品の譲渡または売却時の注意について




本製品を第三者に譲渡または売却する場合は、本装置に添付されている全てのものを譲渡(売却)してください。また、本書を紛失された場合は、販売店または弊社営業にご連絡ください。








本製品の保証について









本製品には「保証書」が添付されています。「保証書」は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容をご確認の上、大切に保管してください。保証期間内に万一故障した場合、保証書記載内容にもとづいて修理いたします。

保証期間後の修理については、販売店または弊社営業にご相談ください。








安全上の重要な注意事項

 危険	
<ul style="list-style-type: none"> 引火性のあるガスや発火性のある物質がある場所で使用しないでください。火花が発生した場合にこれらの物質に引火し、爆発する危険があります。 	 

 警告	
<ul style="list-style-type: none"> 常にマニュアルに記載されている各種注意事項及び使用範囲を守ってご使用ください。本マニュアルに記載されていない操作・取扱方法、仕様変更した交換部品の使用や改造、記載内容に従わない使用や動作などを行わないでください。機械の故障、人身災害の原因になることがあります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 保守員以外は、本製品の分解、修理・改造などをしないでください。分解・修理・改造などを行うと正常に動作しなくなるばかりでなく、感電・火災の原因となることがあります。 	 
<ul style="list-style-type: none"> 公共的、社会的に重大な影響を及ぼす可能性の機器や、医療機器など、人命および人身の損害に影響を及ぼす可能性がある用途には使用しないでください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 本製品の使用中に異音、異臭の発生や異常が生じたときは、直ちに使用を中止し、販売店または弊社営業までご連絡ください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 異物が入ったり、水などがかかったときは、直ちに使用を中止し、販売店または弊社営業までご連絡ください。 	

 注意	
<ul style="list-style-type: none"> 本製品は日本国内用であり、輸出はできません。 	
<ul style="list-style-type: none"> UPS本体装置のメンテナンスを行う際や、オプションアクセサリを取り付ける際は必ず、UPS本体装置を停止し、入力ケーブルをコンセントから抜いてください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 本製品に対応している以外の製品では使用しないでください。また、弊社が指定していない製品、インタフェースケーブル等を使用したために発生した故障事故については、その責任を負いかねますのでご了承ください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 本製品は温度0～40℃、湿度10～80%(ただし結露のないこと)の範囲内の場所に設置してください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 本製品は雷に対する対策を行っておりません。落雷が想定される場所への設置は行わないでください。また、やむを得ず設置する場合は、避雷対策を十分に行ってください。 	
<ul style="list-style-type: none"> 通信ケーブルは通路など足の引っかかる場所には置かないでください。本製品および周辺機器などを破損したり、通信異常を起こす可能性があります。 	
<ul style="list-style-type: none"> 落としたり堅いものにぶつけるなどして強い衝撃を与えないでください。 	

安全上の重要な注意事項

 注意	
<p>・ 次のような場所では使用しないでください。破損や故障などの原因になります。</p> <p>直射日光の当たる場所</p> <p>高温、多湿の場所</p> <p>振動、ほこりの多い場所</p> <p>強い電界、磁界の中</p> <p>水、コーヒー、ジュースなどの飲料や油などがかかる恐れのある場所</p> <p>高熱を発する部品の近辺</p>	
<p>・ 無人で使用する場合は、正常な設置状態にあるか時々点検してください。</p>	
<p>・ 保管の際は保存環境(温度-10~60℃、湿度10~80%：ただし結露のないこと)に注意して、本書と一緒に保管してください。</p>	
<p>・ 本製品の電子部品、コネクタ等に直接ふれないでください。</p> <p>静電気により故障の原因となることがあります。また、思いがけない感電やケガのおそれがあります。</p> <p>本製品の設置時や設定時などで本製品に触れる場合は、導電性マットを使用したり、身近な金属(アルミサッシやドアノブなど)に手を触れて、身体の静電気を取り除く等静電気対策を行ってください。</p>	
<p>・ 本製品は水などで濡らさないで下さい。感電・火災の原因となります。</p>	 

目次

1 章 概要	- 1 -
1.1 機能概要	- 1 -
1.2 アプリケーション	- 1 -
1.2.1 ネットワークで UPS を操作	- 1 -
1.2.2 ネットワーク・ユーティリティ	- 1 -
1.2.3 YENetAgent 付属 CD の内容	- 2 -
1.3 仕様、ボードの説明	- 2 -
1.3.1 保管	- 2 -
1.3.2 設置条件	- 2 -
1.3.3 注意事項	- 2 -
1.3.4 パネル面	- 3 -
1.3.5 ボード上面	- 3 -
1.3.6 仕様	- 4 -
1.3.7 梱包内容	- 4 -
2 章 YENetAgent のインストール手順	- 5 -
3 章 YENetAgent の設置、設定方法	- 6 -
3.1 UPS とネットワークによる YENetAgent のインストール	- 6 -
3.1.1 YENetAgent の設置	- 6 -
3.1.2 YENetAgent 用アプリケーションのインストール	- 7 -
3.1.2.1 YENetClient のインストール	- 8 -
3.1.2.2 YENetSearcher のインストール	- 10 -
3.1.2.3 MIB ファイルのインストール	- 11 -
3.1.2.4 マニュアル表示	- 12 -
3.1.2.5 インストーラの終了	- 12 -
3.1.3 YENetAgent 用アプリケーションの削除	- 12 -
4 章 YENetSearcher による YENetAgent の IP アドレスの設定	- 14 -
4.1 YENetSearcher の起動	- 14 -
4.2 YENetSearcher の使用方法	- 14 -
4.2.1 Web メニューの起動	- 15 -
4.2.2 ネットワーク設定	- 15 -
4.2.2.1 基本設定：アドレス設定	- 15 -
4.2.2.2 拡張設定：プロトコル設定	- 16 -
4.2.2.3 パスワード：YENetSearcher のパスワード	- 17 -
4.2.3 YENetAgent のアップデート	- 18 -
4.2.4 YENetSearcher について	- 18 -
4.2.5 一覧の更新	- 18 -
5 章 ブラウザでの YENetAgent への接続	- 19 -
5.1 はじめに	- 19 -
5.2 YENetAgent Web インターフェイス	- 20 -
5.2.1 情報	- 20 -

5.2.1.1	システム状況	- 20 -
5.2.1.2	基本情報	- 21 -
5.2.1.3	現在状況	- 22 -
5.2.1.4	リモート操作	- 23 -
5.2.1.5	メータ/表	- 23 -
5.2.2	設定	- 24 -
5.2.2.1	UPS 設定	- 24 -
5.2.2.2	Wake On LAN 設定	- 26 -
5.2.2.3	ネットワーク	- 27 -
5.2.2.4	SNMP	- 28 -
5.2.2.5	E-mail	- 31 -
5.2.2.6	WEB/Telnet	- 34 -
5.2.2.7	システム時間	- 36 -
5.2.3	ログ情報	- 37 -
5.2.3.1	イベントログ	- 37 -
5.2.3.2	データログ	- 38 -
5.2.4	ヘルプ	- 39 -
5.2.4.1	検索 YENetAgent	- 39 -
5.2.4.2	シリアル・ポート デバッグ	- 39 -
5.2.4.3	ヘルプ	- 40 -
5.2.4.4	バージョン情報	- 40 -
6 章	Telnet によるリモート設定	- 42 -
6.1	はじめに	- 42 -
6.2	Telnet の起動	- 42 -
7 章	Windows シャットダウン・ユーティリティ-YENetClient の使い方	- 48 -
7.1	YENetClient の状態	- 48 -
7.2	YENetClient の起動	- 49 -
7.3	YENetClient の使用方法	- 49 -
7.3.1	YENetClient の設定	- 50 -
7.3.1.1	基本設定	- 50 -
7.3.1.2	電源異常時設定	- 51 -
7.3.1.3	複数の PC に YENetClient をインストールする際の注意	- 53 -
7.3.2	イベントログ	- 55 -
7.3.3	YENetClient について	- 55 -
7.3.4	ネットワークの接続状態	- 55 -
7.3.5	AC 電源状態	- 55 -
7.3.6	バッテリー状態	- 56 -
7.3.7	Windows Server 2003 (R2 を含む)、Vista で YENetClient をご使用になる場合の注意	- 56 -
8 章	その他	- 57 -
8.1	SNMP Trap や Mail のイベントの詳細について	- 57 -

1 章 概要

1.1 機能概要

YENetAgentはユタカ電機製作所製UPSのSuper Powerシリーズ(以下SPシリーズ)とSuper Towerシリーズ(以下STシリーズ)の拡張スロットに挿入し、Webブラウザ、SNMPを使用しリモート操作やデータを取得できるネットワークボードです。さらに付属のYENetClientユーティリティをPCにインストールすることで、イーサワークネット経由でPCのシャットダウンを行う事が出来ます。

【注意】YENetAgentはHyperシリーズ、Super Smartシリーズ、miniシリーズにはご使用なれません。

概要

① UPS を監視、制御する為に SNMP MIB を提供

【注意】全ての SNMP マネージャーでの動作を保証するものではありません。

② イーサネットは 10Base-T/100Base-TX 自動判定

③ Telnet、Web ブラウザを通して各項目の機能を設定

④ Http、SNMP、Telnet、SNTP、SMTP 等のサポート

⑤ Windows 上のネットワーク簡易設定ツール YENetSearcher を使用して IP の設定及び、プログラムのアップデートが可能

⑥ イベント通知を SNMP TRAP や E-mail で送信可能

⑦ 毎日の UPS 履歴を自動 mail 送信

⑧ コンピュータの安全なシャットダウンの為、Windows 用のシャットダウン・ソフトウェア YENetClient を提供。複数の PC にインストールしても追加ライセンス費は不要
その際は「7.3.1.3 複数の PC に YENetClient をインストールする際の注意」をご参照下さい。

1.2 アプリケーション

1.2.1 ネットワークで UPS を操作

UPS を YENetAgent に接続するとシステム管理者は UPS の状態を Web ブラウザで確認できます。管理者は UPS に接続している YENetAgent の IP アドレスを入力するだけで UPS を監視、制御できます。電源異常が発生した場合、YENetAgent は SNMP トラップ情報をシステム管理者に送ることが出来ます。

1.2.2 ネットワーク・ユーティリティ

YENetSearcher をインストールすると同一ネットワークアドレス内の全ての YENetAgent を検索し、IP アドレスの設定やファームウェアのアップデートが可能です。

YENetClient をインストールすると UPS の入力電源異常、又はローバッテリーを検出するとシステムのシャットダウンを実行します。

1.2.3 YENetAgent 付属 CD の内容

- YENetSearcher

YENetAgent の IP アドレスの設定やファームウェアのアップデート機能。Windows 用。

- YENetClient

Windows 用のシャットダウンユーティリティ

- UPS MIB ファイル

Network Management System(SNMP マネージャー)用の MIB ファイル

- インストーラ、マニュアル

1.3 仕様、ボードの説明

1.3.1 保管

本ボードを単体で保管する場合は、出荷の際に入っていた袋に入れて保管してください。

本ボードの裏面に電池の端子が出ておりますので、金属板やアルミ箔、電導スポンジ等の電導性のある物の上に置いたり包んだりしないでください。電池がショートし、ボードの故障や発煙等が発生する可能性があります。

1.3.2 設置条件

設置は快適な場所をお選びください。とくに以下のような場所は、お避けください。

- (1) 直射日光の当たる場所
- (2) 高温・多湿の所
- (3) 強い振動や衝撃のある所
- (4) 塩分や腐食性ガスの発生する所
- (5) 傾いている(水平でない)所
- (6) 無線機の近く(無線機にノイズが混入する場合があります)
- (7) 埃の多い場所
- (8) 狭い場所

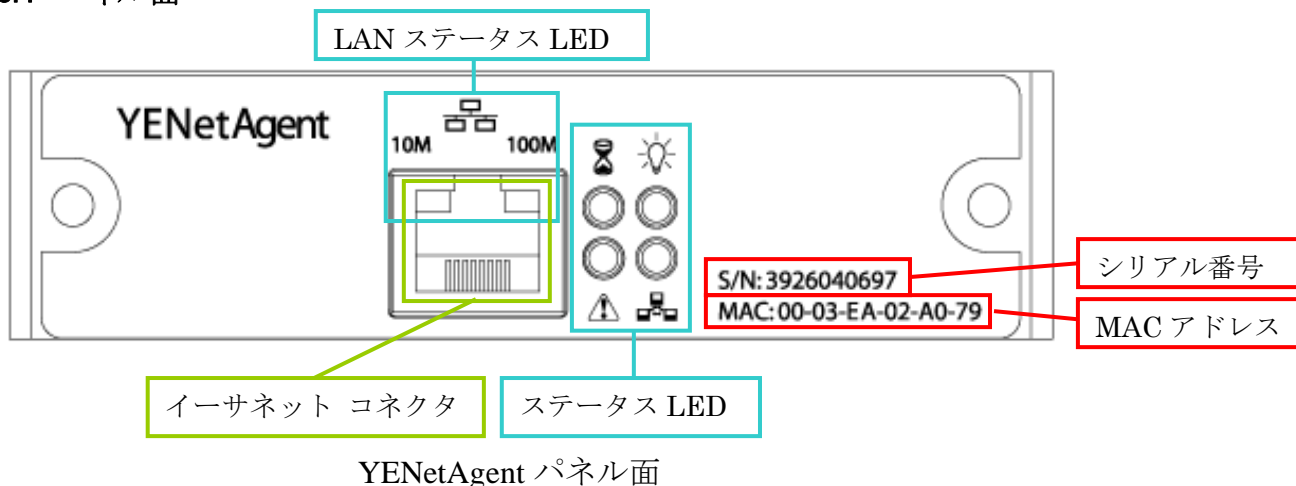
また、加湿器をご使用の場合は超音波式加湿器以外の加湿器をご使用ください。

1.3.3 注意事項

次の事項はお避けください。

- (1) 本ボードの設置(UPS 本体への抜き差し)は、UPS が動作中(UPS へ電源供給されている状態)に行なわないでください。抜き差しされる場合は、必ず UPS を完全に停止した状態(UPS のオペレーションスイッチを「OFF」し、UPS の電源コンセントを抜いた状態)で行なってください。UPS が通電中に抜き差しされますと、本ボード及び UPS 本体の故障、出力の停止などが発生する可能性があります。
- (2) 本ボードはインターネットに直接接続して運用されることは想定しておりません。ローカルエリア(LAN)内でご使用していただきますようお願いいたします。
- (3) 静電気等で破損することがございますので、ボード上の部品や端子を手で触れないでください。ボードを設置や取り出しをする際はパネルをお持ち下さい。
- (4) **Windows Server 2003(R2 を含む)、Vista** で **YENetClient** をご使用になる場合、必ず専用グラフィックドライバをインストールして下さい。標準 VGA グラフィックドライバ **vgapnp.sys** のままご使用になるとドライバがメモリリークを発生し **Windows** がハングアップすることがあります。

1.3.4 パネル面



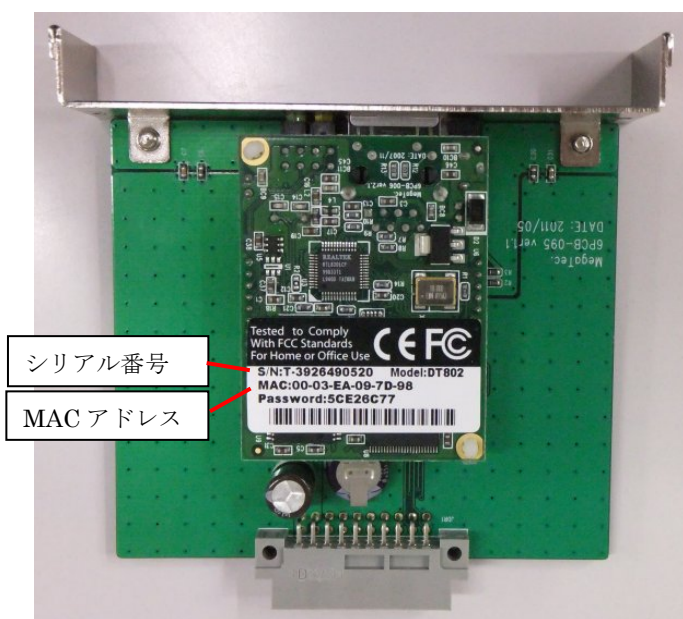
ステータス LED

	緑	パワーステータス	ボードに電源が入っていると点灯
	黄	起動ステータス	ボードが動作中であれば点灯 但しオレンジが点滅するまで Web アクセスは出来ません
	オレンジ	通信ステータス	UPS との通信時に点滅
	赤	エラーステータス	UPS との通信不良で点滅

LAN ステータス LED

	10M	黄	10Base-T	点灯: 各スピードでリンク
	100M	緑	100Base-TX	点滅: 各スピードでアクセス中

1.3.5 ボード上面



1.3.6 仕様

項目		仕様
型名		YENetAgent
寸法	幅	100mm
	奥行	110mm
	高さ	25mm
	質量	80g
消費電力		2W 以下
環境	使用温度	0～60℃
	使用湿度	10～90% (ただし、結露なきこと)
ハードウェア	RTC 精度	±50ppm (-10℃ ～ 60℃)
	RTC 用電池	電気二重層コンデンサ 充電時間 : 約 3 分 RTC 保持時間: 約 5 日
	Ethernet	RJ-45 コネクタ、100BASE-TX/10BASE-T、全二重 オートネゴシエーション対応、手動設定可能
ソフトウェア	ネットワーク プロトコル	telnet: TCP 23 *1 smtp: TCP 25 *2 dns: UDP 53 http: TCP 80 *1 ntp: UDP 123 snmp: UDP 161 *2 snmp trap: UDP 162 *2 *1: YENetSearcher でポート番号の変更、動作の停止が可能 *2: Web メニューでポート番号の変更が可能
	シャットダウンソフト	YENetClient(Windows のみ) 対応 Windows バージョン: XP、2003(R2 を含む)、Vista、2008(R2 を含む)、7 のそれぞれ x86 と x64 (*1)
	IP 設定ソフト	YENetSearcher(Windows のみ) 対応 Windows バージョン: XP、Vista、7 のそれぞれ x86 と x64
	対応可能な YENetClient 搭載 PC 台数	推奨 8 台以下

*1 Windows Server 2003(R2 を含む)、Vista で YENetClient をご使用になる場合、必ず専用グラフィックドライバをインストールして下さい。標準 VGA グラフィックドライバ `vgapnp.sys` のままご使用になるとドライバがメモリリークを発生し Windows がハングアップすることがあります。

1.3.7 梱包内容

YENetAgentを設置する前に以下の物が揃っているかをご確認下さい。万一不足している物がある場合は販売店へご連絡下さい。

YENetAgent ボード本体	1台
YENetAgent Setup Disk	1枚
クイック インストレーション ガイド	1部

2 章 YENetAgent のインストール手順

YENetAgentを使用する前に、適切なハードウェアとソフトウェアの設定が必要です。ハードウェアの設定はYENetAgentをUPSに挿入し、ネットワークに接続します。ソフトウェア設定では、IPアドレスの設定を行います。次に、Webブラウザ又はTelnetでYENetAgentの設定をします。更にPCにシャットダウン・ユーティリティをインストールします。

YENetAgent の設置、設定方法 (3 章)

YENetSearcher による YENetAgent の IP アドレスの設定 (4 章)

ブラウザでの YENetAgent への接続 (5 章)

Telnet による YENetAgent の設定 (6 章)

シャットダウン・ユーティリティの使用－YENetClient の使い方 (7 章)

3 章 YENetAgent の設置、設定方法

3.1 UPS とネットワークによる YENetAgent のインストール

3.1.1 YENetAgent の設置

① ボードは UPS シリーズ毎に挿入する向きが異なります。下記図を参照に正しい方向に挿入します。

【注意】 挿入する際は UPS を完全停止状態(オペレーションスイッチを OFF にし、UPS の入力コンセントを抜いた状態)で行って下さい。UPS の電源が入った状態でボードを抜き差しするとボード、UPS が誤動作(出力が一時停止等)したり、破損の原因となります。



3KVA 以下の Super Power(UPS30xxSP 以下)の挿入方向



Super Tower シリーズおよび UPS6020SP の挿入方向

【注意】 ボードは逆向きでもある程度までは挿入できますが、正しい方向でなければ奥までは入りません。無理矢理挿入するとボードやUPS を破損することがあります。

②ネットワーク・ケーブルで YENetAgent を LAN に接続します。

【注意】YENetAgent は Auto MDI/MDI-X 機能には対応していません。接続先が Auto MDI/MDI-X に対応していない場合はケーブルのストレート/クロスの種類を正しい物をご使用下さい。接続先が Hub ならストレートケーブル、PC に直接つなぐ場合はクロスケーブルをご使用下さい。

3.1.2 YENetAgent 用アプリケーションのインストール

YENetAgent 用のアプリケーションをインストールします。



インストーラのメイン画面

YENetClient は UPS によりシャットダウンしたい PC 全てにインストールします。

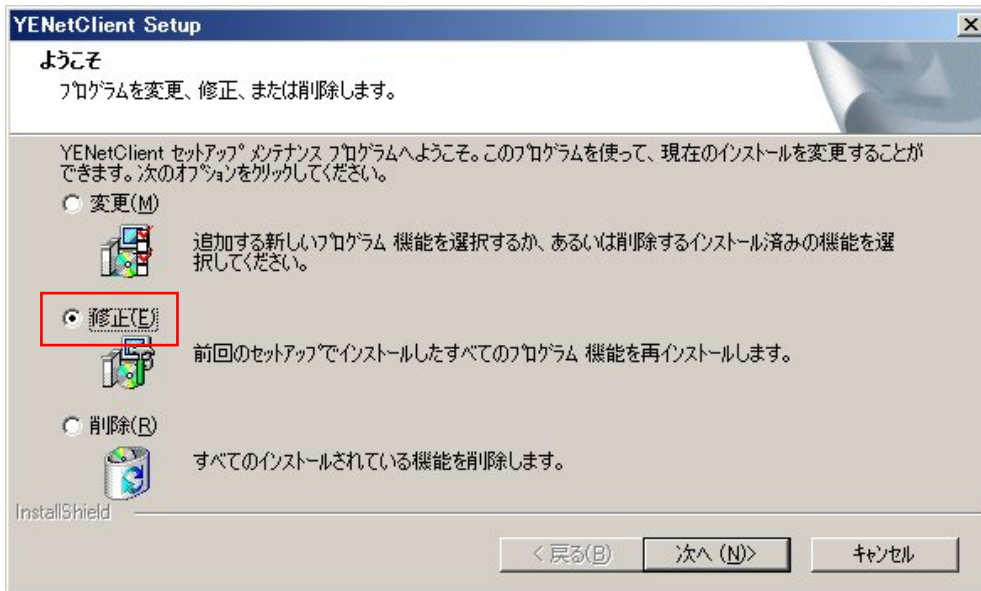
YENetSearcher は UPS の IP アドレスやアップデートを行うためのものですので、設定を行う 1 台の PC にインストールするだけで結構です。シャットダウンしたい PC である必要はありません。

付属の CD を CD ドライブに挿入すると下記図の「YENetAgent Utility - Installation Wizard」が自動的に起動します。もし、起動しない場合は CD フォルダを開き、「PLAY.BAT」をダブルクリックします。

【注意】既に YENetClient や YENetSearcher がインストールされている状態で再度同じプログラムをインストールしようとするときのような画面が表示されます。

アップデート等で更新する際は「修正」を選んで、「次へ」をクリックしてください。プログラムが更新されます。YENetClient の場合、タスクトレイにアイコンが表示されないことがあります。停電時はシャットダウン動作を行います。タスクトレイにアイコンを表示するには「7.1 YENetClient の起動」の手順で YENetClient を実行して下さい。

更新をしないのであれば「キャンセル」をクリックして下さい。



上の画面で「削除」を選ぶとプログラムと設定を全て削除します。

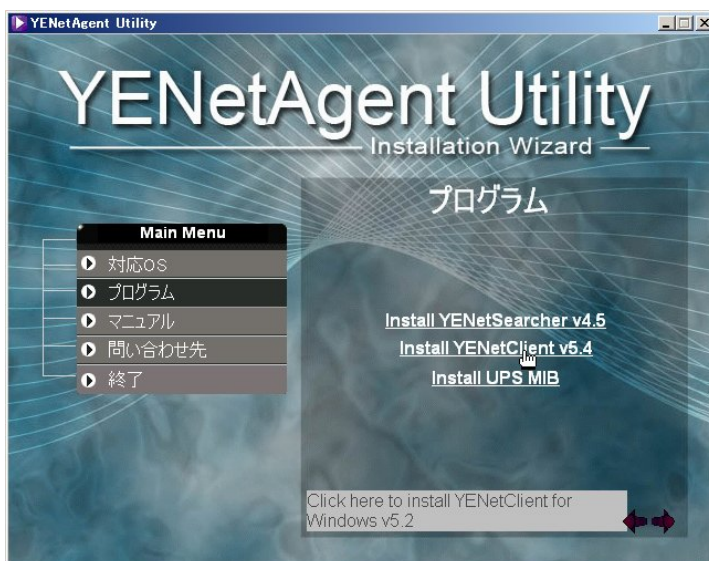
再度、YENetClient をインストールするには「3.1.2.1 YENetClient のインストール」に従いインストールし直して下さい。設定は全て削除されていますので再度設定を行って下さい。

再度、YENetSearcher をインストールするには「3.1.2.2 YENetSearcher のインストール」に従いインストールし直して下さい。

3.1.2.1 YENetClient のインストール

YENetClient は YENetAgent と通信を行い、停電を検出するとインストールされている PC をシャットダウンします。そのため、停電シャットダウンを行いたい全ての PC にインストールします。

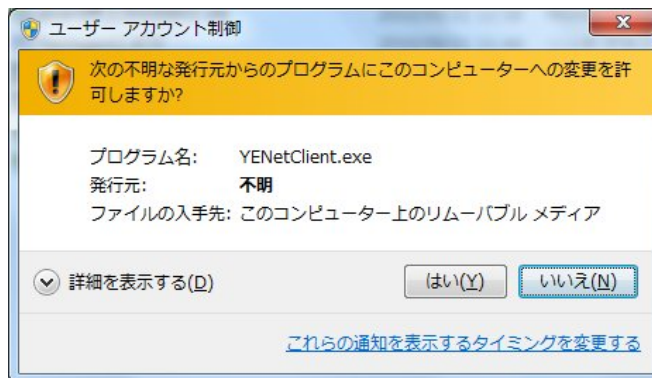
インストーラの左側の「プログラム」をクリックすると右側にプログラムメニューが開きます。リストの中の「Install YENetClient」をクリックします(バージョン番号は出荷時期により変わることがあります)。



Windows Vista 以降は下記のようなメッセージが表示されますので、「続行」、または「はい」をクリックしてください。

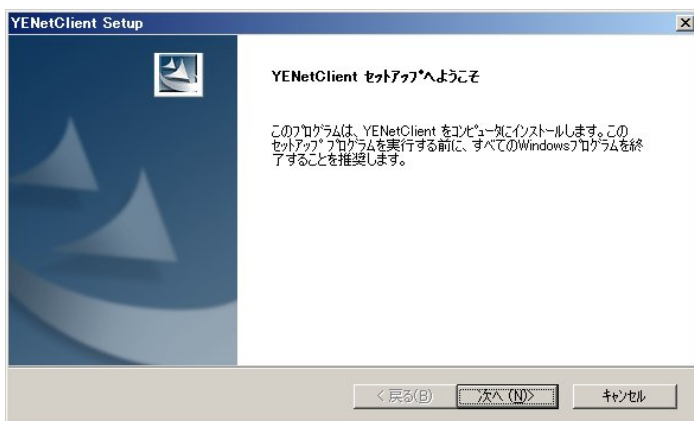


Windows Vistaの場合



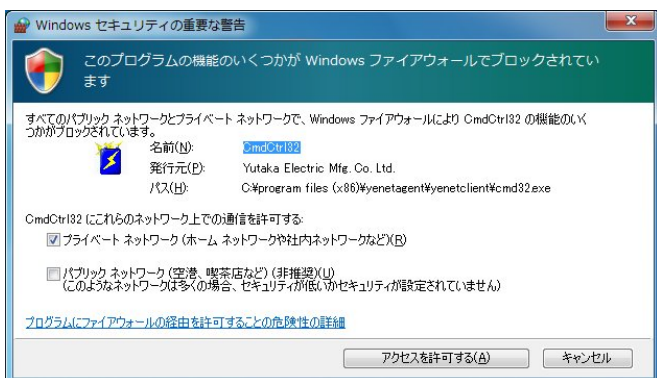
Windows 7の場合

YENetClientのセットアッププログラムが起動します。

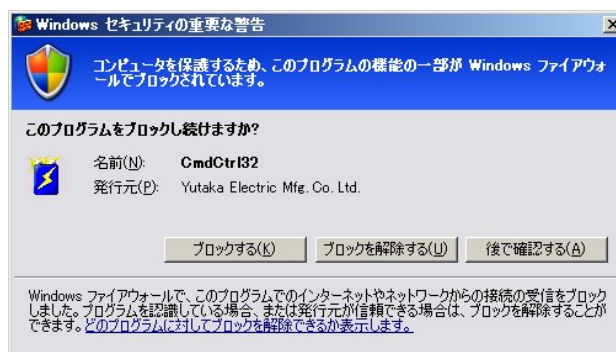


特に変更項目が無ければ「次へ」をクリックし続けます。

セットアップ時に下記のようなメッセージが出ることがありますが、「アクセスを許可する」または「ブロックを解除する」をクリックしてください。

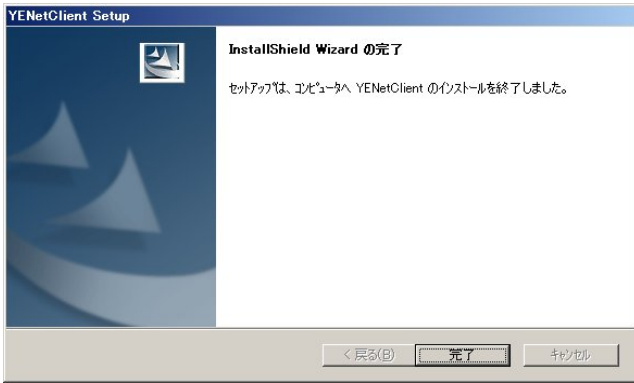


Windows 7の場合



Windows XPの場合

最後に「完了」をクリックするとインストールが完了します。



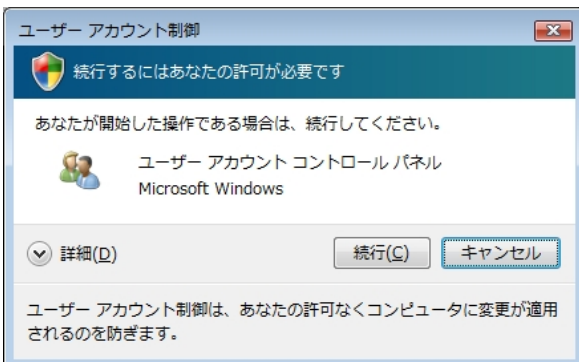
3.1.2.2 YENetSearcher のインストール

YENetSearcher は YENetAgent の設置時に IP アドレスを設定したり、YENetAgent のアップデートを行う際に使用します。そのため、全ての PC にインストールする必要はありません。

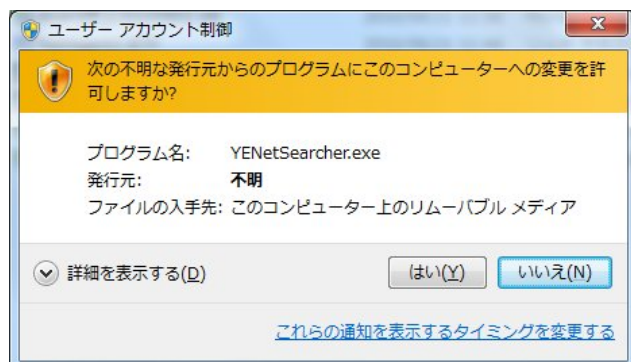
インストーラの左側の「プログラム」をクリックすると右側にプログラムメニューが開きます。リストの中の「Install YENetSearcher」をクリックします(バージョン番号は出荷時期により変わることがあります)。



Windows Vista 以降は下記のようなメッセージが表示されますので、「継続」、または「はい」をクリックしてください。

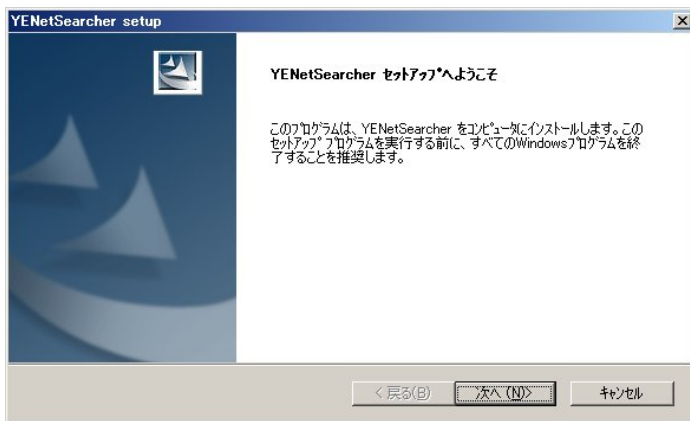


Windows Vistaの場合



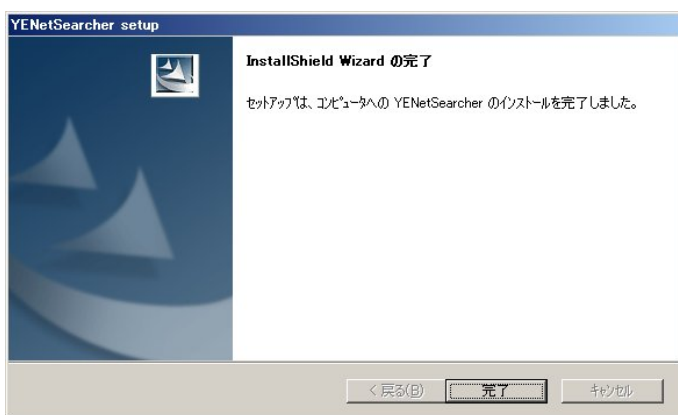
Windows 7の場合

YENetSearcherのセットアッププログラムが起動します。



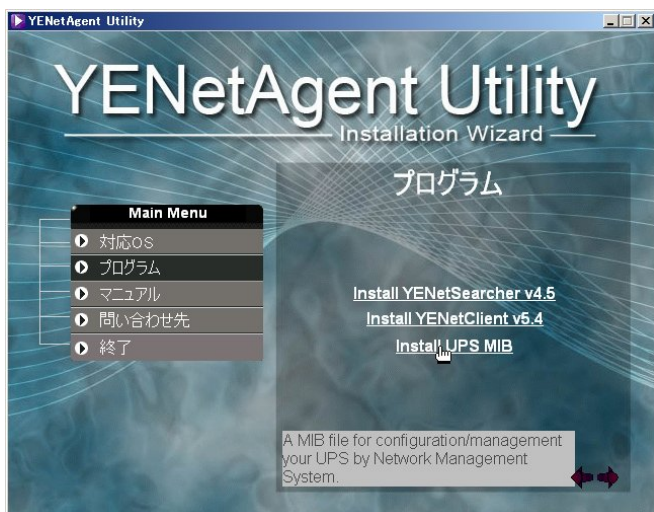
特に変更項目が無ければ「次へ」をクリックし続けます。

最後に「完了」をクリックするとインストールが完了します。



3.1.2.3 MIB ファイルのインストール

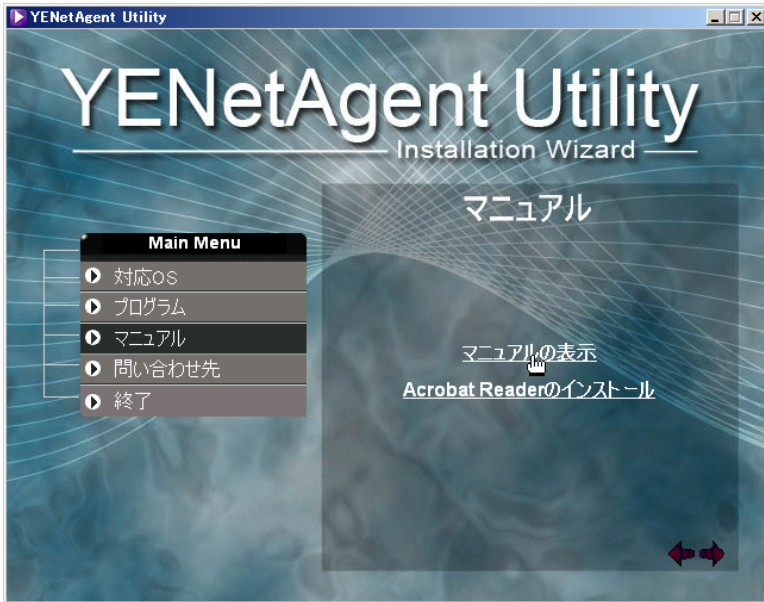
MIBファイルはご使用になるSNMPマネージャーごとにインストール方法が異なります。そのため、インストーラの「Install UPS MIB」をクリックしてもMIBファイルの入っているフォルダが開くだけです。後はSNMPマネージャーのMIBのインストール操作に従い、このファイルを登録してください。



3.1.2.4 マニュアル表示

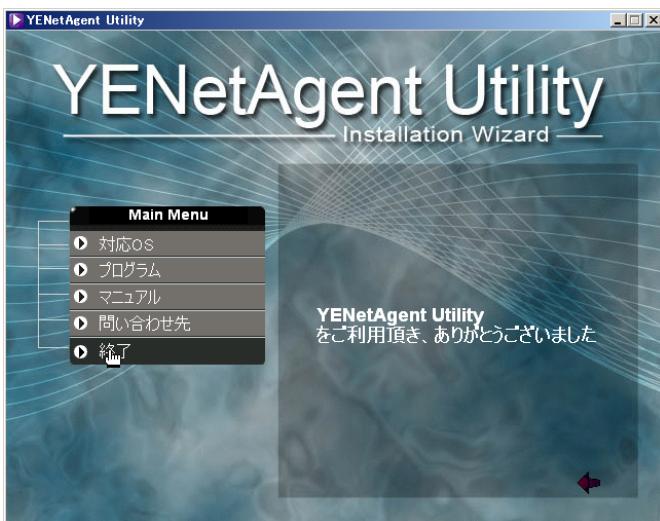
インストーラの左側の「マニュアル」をクリックすると「マニュアルの表示」画面になります。「マニュアルの表示」をクリックするとマニュアルが表示されます。

マニュアルを表示するためには Adobe 社の Acrobat Reader か Acrobat が必要です。これらがインストールされていない場合は「Acrobat Reader のインストール」をクリックすると Acrobat Reader のインストールが始まりますので、指示に従ってインストールしてください。



3.1.2.5 インストーラの終了

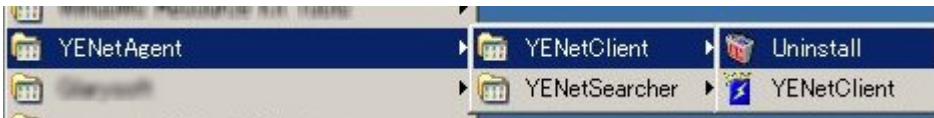
インストーラの左側の「終了」をクリックするとインストーラは終了します。完全に終了するのに 10 秒ほどかかります。



3.1.3 YENetAgent 用アプリケーションの削除

YENetClient、YENetSearcherを削除する場合、下記の手順で行います。

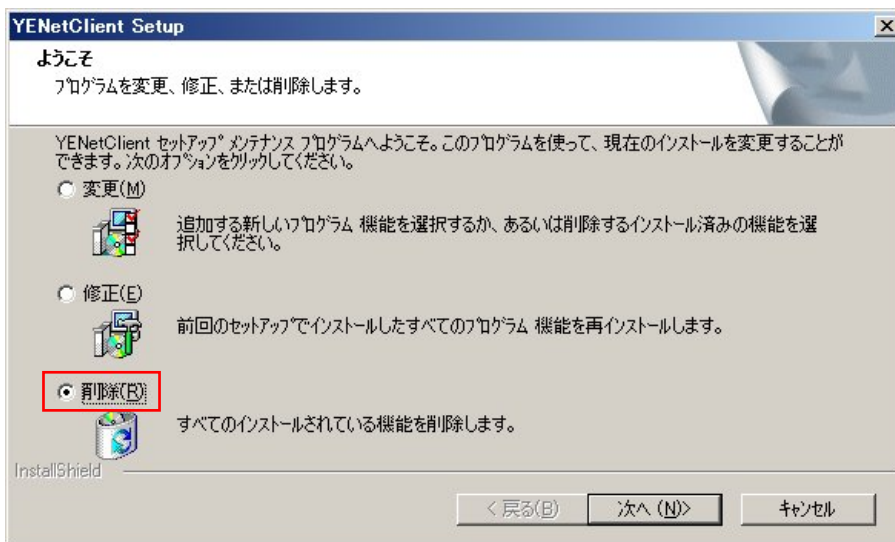
① YENetClientはWindowsの「スタート」メニューの「プログラム(WindowsXP)」,または「すべてのプログラム(Windows7)」中に「YENetAgent¥YENetClient」グループが作成されています。その中の“Uninstall”をクリックします。



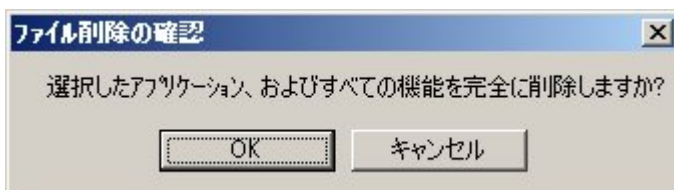
YENetSearcherはWindowsの「スタート」メニューの「プログラム(WindowsXP)」,または「すべてのプログラム(Windows7)」中に「YENetAgent¥YENetSercher」グループが作成されています。その中の“Uninstall”をクリックします。



② 次のような画面が表示されますので、「削除」を選択し、「次へ」をクリックします。



③ 次のような画面が表示されますので、「OK」をクリックします。

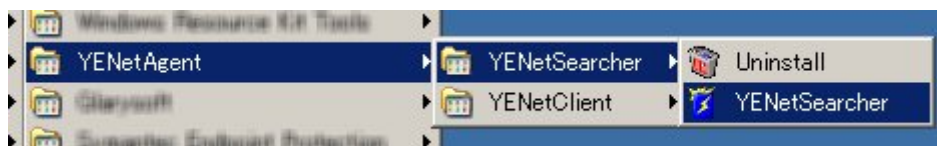


④ 「アンインストール完了」の画面が表示されますので「完了」をクリックすると削除が完了します。

4 章 YENetSearcher による YENetAgent の IP アドレスの設定

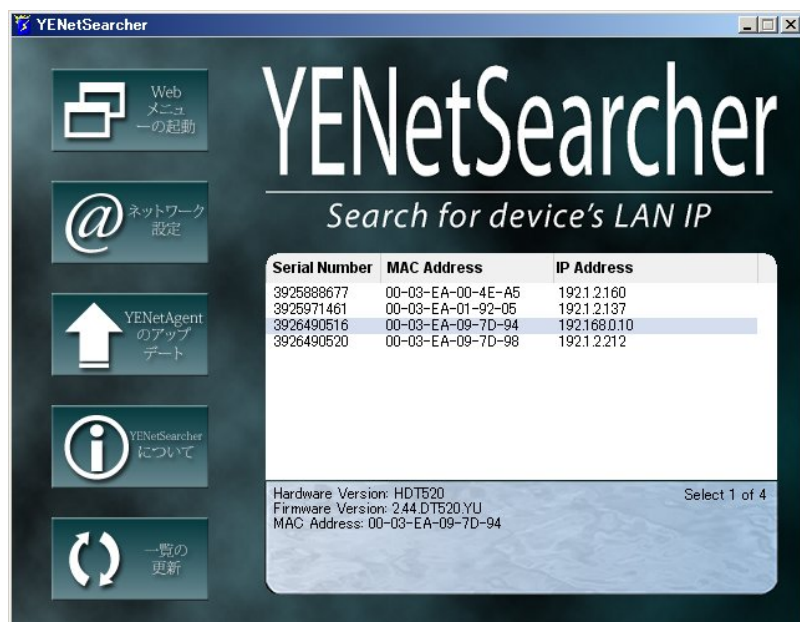
4.1 YENetSearcher の起動

Windows の「スタート」メニューの「プログラム(WindowsXP)」、または「すべてのプログラム (Windows Vista/7)」中に「YENetAgent¥YENetSercher」グループが作成されています。「YENetSearcher」をクリックして起動します。



4.2 YENetSearcher の使用方法

下記図 YENetSearcher のメイン画面の右側は LAN で接続されている全ての YENetAgent が自動的に検出され一覧表示されます。左側は機能選択メニューです。



YENetAgent のメイン画面

【注意】 YENetSearcher の検出は同一ネットワークアドレス内のみです。同一ネットワークアドレス外の YENetAgent は検出できません。

Windows 自身のファイアウォール機能やファイアウォールソフトによって YENetAgent が検出できないことがあります(下記図参照)。その際は YENetSearcher での作業が終わるまでファイアウォール機能やファイアウォールソフト機能を一時的に無効にしてください。



YENetAgent 未検出時の画面

4.2.1 Webメニューの起動

YENetAgent の IP アドレスが設定済みならば、一覧中の YENetAgent をクリックしてから「Webメニューの起動」をクリック、又は一覧に記載された YENetAgent をダブルクリックすると Web ブラウザが開きます。ログイン画面が出てきましたらユーザ名とパスワードを入力します。ユーザ名とパスワードは Web メニューから登録できます。

4.2.2 ネットワーク設定

一覧から設定したい YENetAgent を選択し、ネットワーク設定をクリックすると、次の設定ページが現れます。設定後、ボードは再起動していますので、30 秒ほどしてから操作を行ってください。

4.2.2.1 基本設定:アドレス設定

はじめて使用される場合は、YENetAgent の IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定して下さい。

初期値は IP アドレスは“192.168.0.10”、サブネット・マスクは“255.255.255.0”、ゲートウェイは“0.0.0.0”です。デフォルトゲートウェイを設定しないと他のメニューに移れません。必ずデフォルトゲートウェイを設定してください。

設定終了後、「4.2.1 Webメニューの起動」の方法で YENetAgent のブラウザ画面にアクセスできます。またはここで設定した YENetAgent の IP アドレスを Web ブラウザの URL に入力すると YENetAgent のブラウザ画面にアクセスできます。

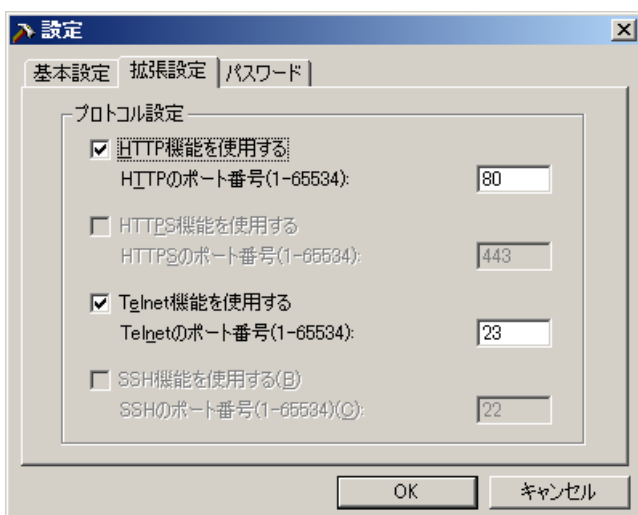
【備考】ネットワーク内にルータ等が無く、デフォルトゲートウェイを設定する必要が無くても必ず設定してください。その場合、YENetAgent の IP アドレスを“192.168.0.20”だとしますと、“192.168.0.1～192.168.0.254”の間の他と重複しないアドレスを指定してください。



基本設定

4.2.2.2 拡張設定:プロトコル設定

YENetAgentの設定を行うためにYENetAgentはHttp(Web)とTelnetの2つの方法を提供しています。安全性を考慮しポート番号の変更が可能です。(httpsとSSHは現在のバージョンでは使用できません)



拡張設定

Http と Telnet の初期状態のポート番号は、それぞれ 80 と 23 に設定されています。チェックを外すとその機能は使用できなくなります。

初期値以外のポート番号を設定すると、Web又はTelnetでログインする際、IPアドレス以外にポート番号の指定も必要です。

例)

Httpのポート番号を81に設定した場合、Webブラウザのアドレスに「http://192.168.0.10:**81**」(末尾の“:81”がポート番号の指定)を入力すると、YENetAgentのブラウザ画面にアクセスできます。

Telnetのポート番号を24に設定した場合、Unix系ではTelnetのIPアドレスの指定に“192.168.0.10:**24**”(末尾の“:24”がポート番号の指定)を入力して、YENetAgentのTelnetにアクセ

できます。

例) \$ telnet 192.168.0.10:24

Windowsの場合、telnetをコマンドプロンプトから実行しますが、Unix系の様にコマンドラインに直接記述するとポート番号が無視されますので、以下のように行います。

```
> telnet #telnetを起動します
Microsoft Telnet> open 192.168.0.10 24 #openコマンドでIPアドレスとポート番号を
#指定します。ポート番号はスペースで区切
#ます
```

なお、Windowsでtelnetクライアントを使用する場合、telnetクライアントが使用可能になっている必要があります。Vista以降は初期時はtelnetクライアントが無効になっていますので、コントロールパネルでtelnetクライアントを有効にしてください。

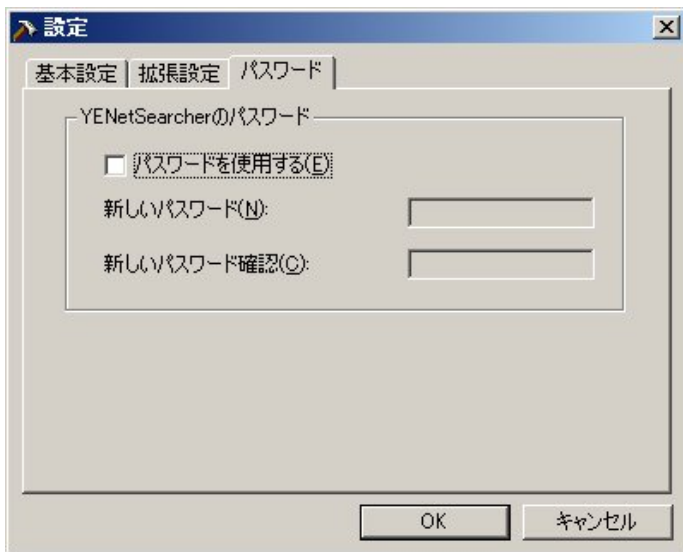
【備考】 Windows Vista、Windows 7でtelnetクライアントを有効にする方法

[スタートメニュー] → [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] → [Windowsの機能の有効化または無効化] の順に開き、[Telnetクライアント] のチェック・ボックスをオンにして [OK] をクリックすると有効になります。(コントロールパネルの開き方はデフォルト状態であるものと仮定しています。Windows VistaのクラシックスタイルやWindows 7の小さいアイコン等では上の順番は異なります)

4.2.2.3 パスワード: YENetSearcher のパスワード

他からの YENetAgent へのアクセスを禁止するために YENetSearcher から YENetAgent を操作するためのパスワードを設定することができます。パスワードは個々の YENetAgent ごとに設定します。パスワードを設定すると再度無効にするまで、YENetAgent への操作時にパスワードを求められます。また、他の PC に YENetSearcher をインストールしても、パスワードを設定した YENetAgent にアクセスするとパスワードを求められます。

【注意】パスワードを忘れてしまった場合は、YENetSearcher から YENetAgent に対して操作ができなくなります。パスワードを忘れないようにしてください。

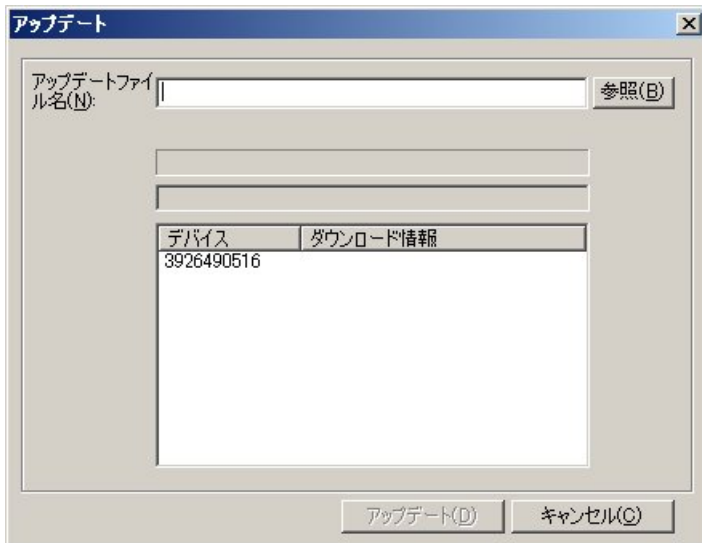


パスワード

4.2.3 YENetAgent のアップデート

YENetSearcher からYENetAgentのプログラムのアップデートを行うことができます。プログラムをアップデートする際、YENetSearcherを下記を順にクリック又は選択して下さい。

1. YENetSearcherの右画面からアップデートを行うYENetAgentをクリックし選択します。
2. 「YENetAgentのアップデート」をクリックし下記画面を表示します。



アップデート画面

3. 「参照」ボタンをクリックし、アップデートファイル(*.bin)を選択します。
4. 「アップデート」ボタンをクリックするとアップデートが始まります。

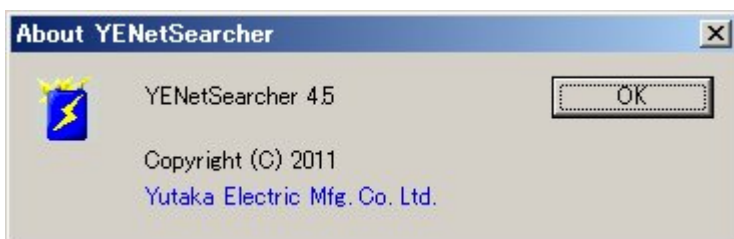
その後、YENetAgentの赤色と黄色のLEDが点滅し、プログラムのアップデートが開始します。アップデートの完了後、YENetAgentは自動的に再起動します。

【注意】 アップデート中はUPSの電源を止めたり、YENetAgentをUPSから抜いたりしないでください。書き込みに失敗すると動作しなくなることがあります。

複数のボードにアップデートが同時に行えますが、1台ずつ行うようにしてください。

4.2.4 YENetSearcher について

YENetSearcher のバージョンを表示します。



YENetAgent のバージョン情報

4.2.5 一覧の更新

YENetSearcher は LAN から使用可能な YENetAgent を定期的に自動で検索します。

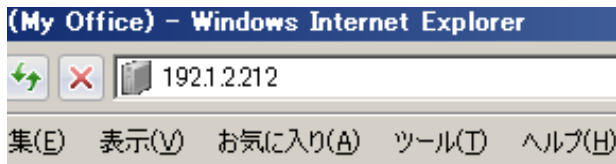
「一覧の更新」をクリックする事で手動で検索することも出来ます。

5 章 ブラウザでの YENetAgent への接続

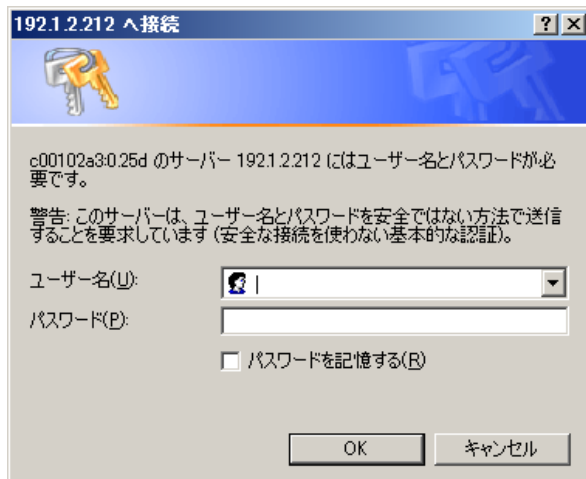
5.1 はじめに

ハードウェアのインストールと IP 設定を含む YENetAgent のインストールが完了したら、ブラウザに YENetAgent の IP アドレスを入力する事によって YENetAgent ブラウザ画面上で UPS を監視、制御する事ができます。

- ① Web ブラウザの開始(Internet Explorer、Firefox 等)
- ② YENetAgent の IP アドレスの入力(YENetSearcher にて IP アドレスを 192.1.2.212 に設定したものとします)



- ③ ログイン画面が現れたら、ユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
「Web/Telnet」メニューでユーザ・アカウント名を登録していない場合、この画面は表示されません。



5.2 YENetAgent Web インターフェイス

YENetAgentのWebページを開くと左側に下記4つの主要項目が表示されます。

- 2.1 情報
- 2.2 設定
- 2.3 ログ情報
- 2.4 ヘルプ

各主要項目をクリックすると、詳細メニューがその下に表示されます。YENetAgent をはじめて使用される時は設定をクリックし、全ての設定項目を設定して下さい。

The screenshot shows the YENetAgent web interface. The top header is 'YENetAgent' with a 'システム状況' (System Status) link on the right. A left sidebar contains navigation menus for '情報' (Information), '設定' (Settings), 'ログ情報' (Log Information), and 'ヘルプ' (Help). The main content area displays 'システム情報' (System Information) and 'ネットワーク状況' (Network Status) in table format.

システム情報			
ハードウェア・バージョン	HDT520		
ファームウェア・バージョン	2.44.DT520.YU		
シリアルナンバー	3926490520		
システム名	UPS Agent		
システム・コンタクト	Administrator		
場所	My Office		
現在時刻	2011/07/27 15:21:32		
累積稼働時間	11 日 22:57:08		
日報をE-mailで送信 12:00			

ネットワーク状況			
MACアドレス	00:03:EA:09:7D:98	プライマリDNSサーバ	
接続方式	100Mbps 全二重	セカンダリDNSサーバ	
IPアドレス	192.1.2.212	タイム・サーバ	ntp.nict.jp
サブネットマスク	255.255.255.0		
ゲートウェイ	192.1.2.254		
E-mail・サーバ			

YENetAgent 基本画面

5.2.1 情報

5.2.1.1 システム状況

このページは YENetAgent のシステム情報とネットワークの設定を表示します。ここで表示されている値は YENetAgent 自身で保持している情報か、又は設定ページで設定されたものです。

システム情報

この項目はYENetAgentのシステム情報を表示します。ハードウェア・バージョン/ファームウェア・バージョン/シリアル番号/現在時刻の値はYENetAgentから提供されます。その他の値は設定ページで設定されたものです。

ネットワーク状況

この項目は YENetAgent のネットワーク設定を表示します。MAC アドレスは YENetAgent により提供されます。その他の値は設定ページで設定されたものです。

システム情報			
ハードウェア・バージョン	HDT520		
ファームウェア・バージョン	2.44.DT520.YU		
シリアルナンバー	3926490520		
システム名	UPS Agent		
システム・コンタクト	Administrator		
場所	My Office		
現在時刻	2011/07/27 15:21:32		
累積稼働時間	11日 22:57:08		
日報をE-mailで送信 12:00			
ネットワーク状況			
MACアドレス	00:03:EA:09:7D:98	プライマリDNSサーバ	
接続方式	100Mbps 全二重	セカンダリDNSサーバ	
IPアドレス	192.1.2.212	タイム・サーバ	ntp.nict.jp
サブネットマスク	255.255.255.0		
ゲートウェイ	192.1.2.254		
E-mail・サーバ			

システム状況

5.2.1.2 基本情報

このページはUPSの基本情報を表示します。ここの値はUPSから提供されているか、又は設定ページで設定されたものです。

UPS情報

この項目はUPSによって提供されます。

バッテリー情報

この項目は設定ページで設定されたものです。

定格情報

この項目はUPSによって提供されます。

UPS基本情報	
UPS 情報	
UPS製造元	Yutaka Electric
UPSファームウェアのバージョン	0063
UPSモデル	UPS610SP
バッテリー情報	
バッテリーの最新交換日	
バッテリー充電電圧	2.250V
定格情報	
定格電圧	100.0V
定格周波数	50.0Hz
定格バッテリー電圧	18.0V

UPS基本情報

5.2.1.3 現在状況

このページはUPSの現在状況を表示します。ユーザは画面表示を更新する為にドロップダウン・ボックスから表示間隔を選択できます。

UPS状況

この項目はUPSとの通信の状況を表示します。通信異常時は赤で表示されます。

入力状況

この項目は AC 状況/入力電圧/入力周波数を含む UPS への入力状況を表示します。

「入力状況」は正常時は「正常」、停電時になれば「バッテリー運転」と赤で表示されます。

出力状況

この項目は出力電圧/出力状況/負荷容量を表示します。

「出力状況」は「正常出力中」、「出力停止」、「バッテリー運転」、「バイパス」が表示されます。

バッテリー状況

この項目は温度/バッテリー状況/バッテリー充電容量/バッテリー電圧を表示します。

「バッテリー状況」は通常「バッテリーは正常」と黒で表示されます。「UPS 設定」の「ローバッテリーシャットダウン容量」以下に容量が低下した時や UPS 自身がローバッテリーと判定した場合、「バッテリー容量低下」が赤で表示されます。その際、「バッテリー充電容量」赤で表示されます。

【備考】 バッテリー充電容量の表示には約±4%の誤差があります。また、バッテリー周辺温度が上がると見かけ上、充電率が下がります。そのため、満充電でも 100%にならないことがあります。あらかじめご了承ください。

現在状況	
表示間隔	10 秒
UPS 状況	UPSは正常
入力 状況	
AC 状況	正常
入力電圧	102.0 V
入力最大電圧	103.0 V
入力最小電圧	101.0 V
入力周波数	49.9 Hz
出力 状況	
出力電圧	102.0 V
出力状況	正常出力中
負荷容量	0 %
バッテリー 状況	
温度	33.0 °C
バッテリー 状況	バッテリーは正常
バッテリー充電容量	98 %
バッテリー電圧	20.16 V

現在状況

5.2.1.4 リモート操作

このページではリモートでUPSを操作する機能を提供します。項目を選び、「適用」をクリックすると実行されます。

UPS出力開始

このコマンドを実行した時、UPSは出力停止状態なら出力を開始します。

UPS出力停止

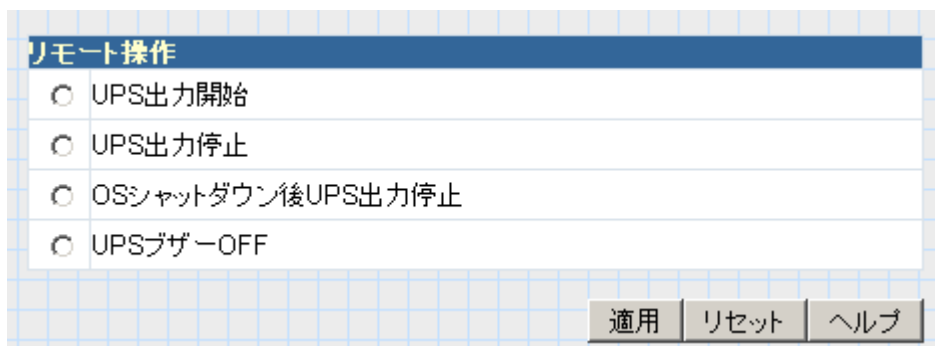
このコマンドを実行した時、UPSは出力開始状態なら1分後に出力を停止します。

OS シャットダウン後 UPS 出力停止

コンピュータにYENetClientがインストールされていて、適切に設定されている場合、このコマンドを実行するとコンピュータがシャットダウンします。UPSの出力は5分後に停止します。

UPSブザーOFF

停電等が発生し、UPSのブザーが鳴っている場合にブザーを停止します。



リモート操作

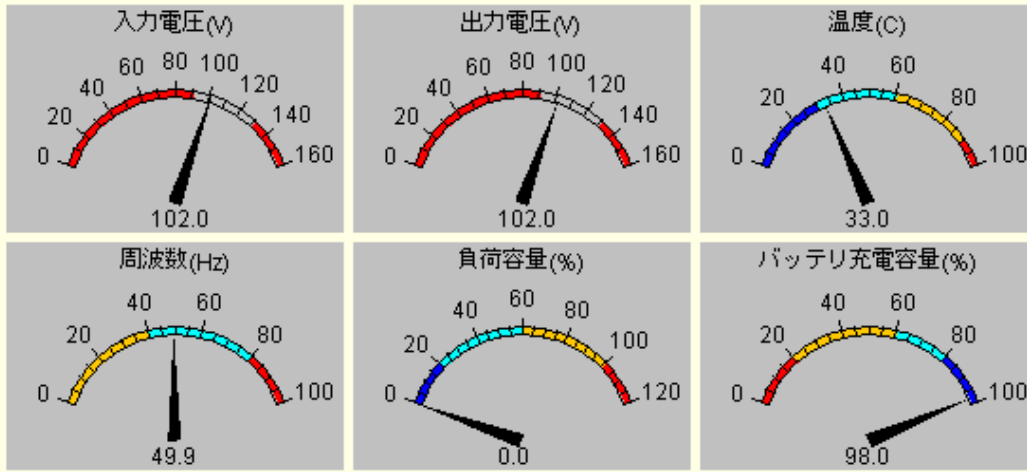
5.2.1.5 メータ/表

このページはメータ/表の図形によって、UPSの温度、容量、負荷、電圧等を表示します。

【注意】 Javaがインストールされているか又は有効にされていないと表示されません。

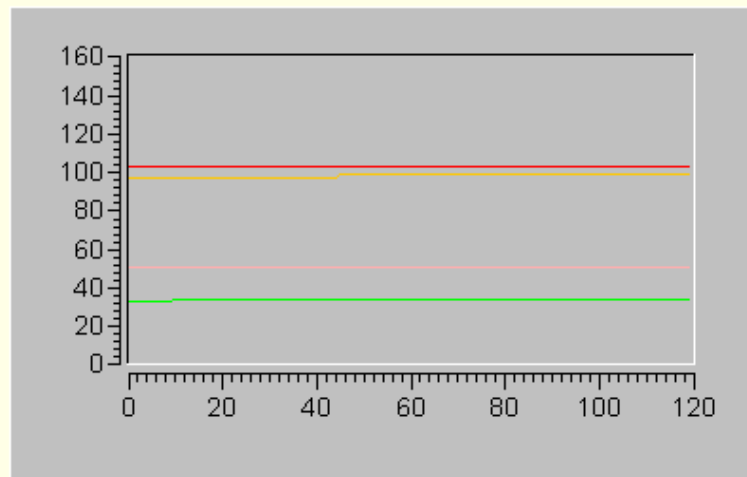
インストールされていない場合は <http://www.java.com/> からJavaがダウンロードできます。

UPSデータ表



UPSデータグラフ

- 入力電圧(V)
- 出力電圧(V)
- 温度(C)
- 周波数(Hz)
- 負荷容量(%)
- バッテリー充電容量(%)



メータ/表

5.2.2 設定

YENetAgentが適切に機能するように、各パラメータを正確に設定して下さい。

5.2.2.1 UPS 設定

このページはUPSの動作に関する値を設定します。誤設定はその後の誤動作等の原因となります。

UPSのプロパティ

「バッテリー使用開始日(交換日)」以外は変更する必要はありません。

バッテリー使用開始日(交換日)(yyyy/mm/dd)

この項目このUPSを初めて使った日、又は最後にバッテリーを交換した日を記録します。次回交換の目安に使用します。

UPSの記録

UPSデータログ

この項目はどの間隔でUPSのデータログを残すかを設定します。

警告しきい値

通常、「温度しきい値」以外の項目を変更する必要はありません。

接続失敗タイムアウト時間

この項目はYENetAgentとUPS間の通信が不能になり、警告メッセージを発行するまでの時間を設定します。

最大接続負荷容量(%)

この項目はUPS最大接続負荷容量を設定します(%表示)。UPSに過大な負荷がかかった時、YENetAgentは警告メッセージを送ります。なお、UPS自身の過負荷判定値とは無関係です。

温度しきい値(C)

この項目はUPSの内部温度のしきい値を設定します。UPSの温度が上昇し過ぎた時、YENetAgentは警告メッセージを送ります。通常は「43.0」を設定しますが、高温対応バッテリー搭載UPSは「58.0」を設定します。

ローバッテリーシャットダウン容量(%)

この項目はUPSのローバッテリーシャットダウン容量を設定します(%表示)。UPSのバッテリーの容量がここで指定した値以下になれば「現在状況」の「バッテリー状況」と「バッテリー充電容量」が赤で表示されます。実際のローバッテリーでのシャットダウン判定はYENetClientで行います。また、UPS自身がローバッテリーと判定(約30%で検出)してもシャットダウン処理が行われます。

【備考】バッテリー容量はバッテリーの電圧から求めています。また、バックアップ運転時間に比例して減るわけではなく、負荷率やバッテリーの劣化具合にもよりますが、最初の30秒~1分ほどで大きく減り、その後、30~40%まではゆっくり減り、それを下回ると減り方が早くなります。

UPS 設定	
UPSのプロパティ	
バッテリーの個数	2
バッテリー満充電電圧(V)	2.250
バッテリー消耗時電圧(V)	
負荷率50%以上(V)	1.500
負荷率 50%以下(V)	1.660
バッテリー使用開始日(交換日)(yyyy/mm/dd)	
UPSの記録	
UPSデータログ	1 分
警告しきい値	
接続失敗タイムアウト時間	30 秒
最大接続負荷容量(%)	100
温度しきい値(°C)	
一般型 43°C	43.0
高温型(Fシリーズ) 58°C	
ローバッテリーシャットダウン容量(%)	30

UPS の設定

5.2.2.2 Wake On LAN 設定

このページではUPSのWake On Lan機能を設定します。

Wake On LAN設定

この項目は UPS が出力を開始した際に、Wake On LAN 機能(ネットワークで PC を起動するか)を設定します。この機能を設定しておくことで UPS が出力を開始した 10 秒後に Wake On LAN データ(マジックパケット)を登録された PC に発行します。

Wake On LAN 機能を使う場合は前もって起動したい PC の IP アドレスを「IP」の項目に登録し、PC が起動しているときに「テスト」ボタンをクリックします。PC が動作していれば自動的に MAC アドレスを取得します。Wake On LAN を機能させるには MAC アドレスが必要です。PC が停止している際は MAC アドレスを取得できませんので、必ず PC が起動中に一度テストを実行してください。なお、PC が動作中にテストを実行しても PC には何も影響を与えません。

Wake on LAN設定					
Wake On Lan					
ホスト1	IP:	192.1.2.190	MAC:	00:16:6F:28:02:10	テスト
ホスト2	IP:		MAC:		テスト
ホスト3	IP:		MAC:		テスト
ホスト4	IP:		MAC:		テスト
ホスト5	IP:		MAC:		テスト
ホスト6	IP:		MAC:		テスト
ホスト7	IP:		MAC:		テスト
ホスト8	IP:		MAC:		テスト

Wake On LAN 設定

【備考】 PC が Wake On LAN の機能をサポートしていないと動作しません。また、BIOS で Wake On LAN 機能(ネットワークで PC を起動する等、BIOS によって表現が異なります)が“有効”になっているかをご確認下さい。BIOS への入り方、Wake On LAN の有効の仕方はメーカーによって異なります。詳しくはメーカーのマニュアルをご確認下さい。

また、Windows 側でも設定が必要な場合もあります。

Windows XP なら「マイ コンピュータ」を右ボタンでクリックし、プロパティをクリックします。「ハードウェア」のタブを開き、「デバイスマネージャ」をクリックし、デバイスマネージャ画面を表示します。

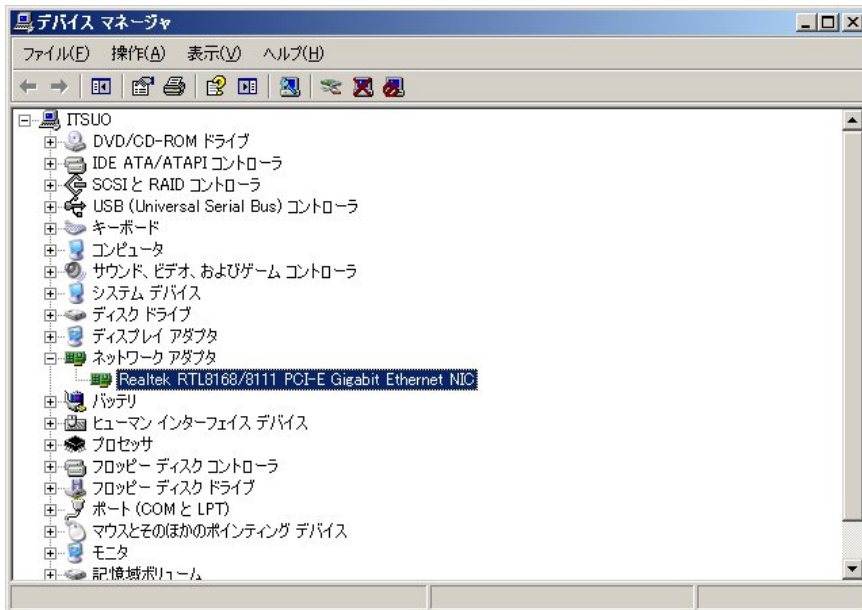
デバイスマネージャのネットワークアダプタから該当するデバイスをダブルクリックし、プロパティを開きます。「詳細設定」のタブを開き、プロパティのリストに「Wake On LAN」またはそれに類似する項目があれば「値」を「有効」や「マジックパケット」等に設定します。

「電源管理」のタブがあり、その中に「このデバイスでコンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」というのがあれば、それを有効にすることで「休止状態」から復帰させることができます。

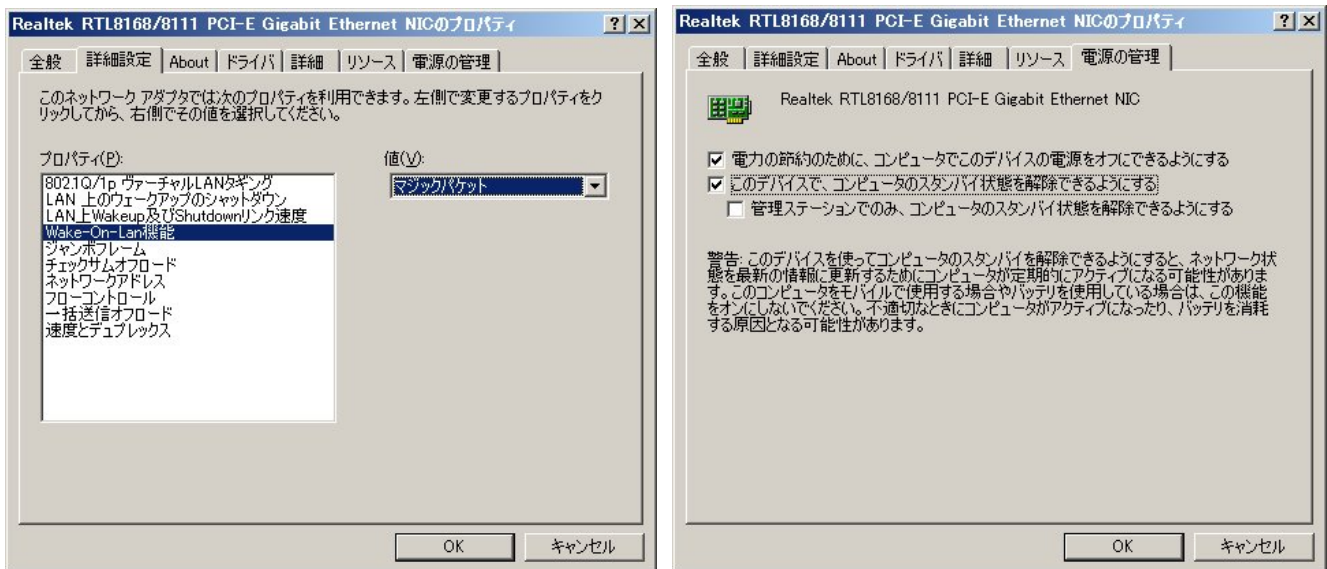
これらの設定はネットワークデバイスの種類、ドライバのバージョンにより異なります。名称が異なったり、項目がない場合もあります。

Windows Vista 以降なら「コンピューター」を右ボタンでクリックし、「プロパティ」をクリック

すると「システム」画面が開きます。その左上の「デバイス マネージャー」をクリックすると「デバイス マネージャー」の画面が開きます。以降は Windows XP と同じように設定します。



Windows XP でのデバイスマネージャでの例



ネットワークデバイスでの例

5.2.2.3 ネットワーク

このページではYENetAgentのネットワークを設定します。

IPアドレス

IPアドレス

この項目はYENetAgentのIPアドレスを設定します。

サブネット・マスク

この項目はYENetAgentサブネット・マスクを設定します。

ゲートウェイ

この項目はYENetAgentのゲートウェイを設定します。

この上の3項目はYENetSearcherでも設定可能です。

DNSサーバIP

プライマリDNSサーバIP

セカンダリDNSサーバIP

この項目はYENetAgentのプライマリDNSサーバとセカンダリDNSサーバのIPアドレスを設定します。 YENetAgentは、プライマリDNSサーバのIPアドレスが使用できない時、セカンダリDNSサーバのIPアドレスを使用します。 設定しない場合、DNS機能は使用されません。

イーサネット

接続方式

この項目はYENetAgentとNetwork間のコミュニケーション速度を設定します。通常は「自動検出」のまま使用してください。「自動検出」では通信できない場合、設定を変更してください。 YENetAgentは接続方式を変更した後に自動的に再起動します。

イーサネット通信断時にUPSの通信も切断

この項目はYENetAgentがイーサネットで切断された時、UPSとの通信を切断するかどうかを設定します。通常は「No」のまま使用してください。

IPアドレス	
IPアドレス	192.1.2.212
サブネット マスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.1.2.254
DNSサーバIPアドレス	
プライマリDNSサーバIP	
セカンダリDNSサーバIP	
イーサネット	
接続方式*	自動検出
イーサネット接続断時にUPSの通信も切断	No

ネットワーク

5.2.2.4 SNMP

このページではYENetAgentのSNMPの設定を行います。これによってシャットダウンソフトYENetClientとの通信が可能になります。

MIBシステム

システム名	管理者名	システム設置場所
UPS Agent	Administrator	My Office

アクセス・コントロール

マネージャIPアドレス	コミュニティ	アクセス権	コメント
****	public	読み取り/書き込み	
****	public	アクセス不可	
****	public	アクセス不可	
****	public	アクセス不可	
****	public	アクセス不可	
****	public	アクセス不可	
****	public	アクセス不可	
****	public	アクセス不可	

トラップ通知

受信側IPアドレス	コミュニティ	トラップタイプ	重要度	発行	コメント	イベント
	public	RFC1628	情報	No		選択 テスト
	public	RFC1628	情報	No		選択 テスト
	public	RFC1628	情報	No		選択 テスト
	public	RFC1628	情報	No		選択 テスト
	public	RFC1628	情報	No		選択 テスト
	public	RFC1628	情報	No		選択 テスト
	public	RFC1628	情報	No		選択 テスト
	public	RFC1628	情報	No		選択 テスト

電源の復元とアダプタの復元でTrapを 0 秒間、 0 秒間隔で送信

接続されているデバイス

デバイス	値(%)	接続中
	0	No
	0	No
	0	No
	0	No

SNMP UDP ポート

YENetAgent SNMPポート*	トラップ受信ポート
161	162

*アイテムを追加した場合にはシステムを再起動する必要があります。

SNMP

MIBシステム

ここで設定した項目はSNMPマネージャに通知、表示されます。

システム名

この項目ではYENetAgentにシステム名を設定します。

管理者名

この項目では管理者名を設定します。

システム設置場所

この項目ではYENetAgentのシステム設置場所を設定します。

アクセス・コントロール

マネージャIPアドレス

この項目では管理者が管理できるIPアドレスやYENetAgentからのアクセスを受け付けるためのIPアドレスをセットします。最大8つのIPアドレスまで登録できます。どのコンピュータからもYENetAgentをアクセスするには、マネージャIPアドレスに、“*.*.*.*”を入力します。

コミュニティ

この項目ではコミュニティ名を設定します。コミュニティ名は、YENetClientで設定したものと同一設定にして下さい。

アクセス権

この項目では管理者の権限を設定します。オプションは、「読み取り」、「読み取り/書き込み」、「アクセス不可」です。SNMPマネージャ等で設定の変更や操作を行う場合は「読み取り/書き込み」に設定します。YENetClientでWindowsのシャットダウンのみを行う場合は「読み取り」のみでかまいませんが、YENetClientの「Windowsシャットダウン時にUPSの出力停止する」を有効にする場合は「読み取り/書き込み」に設定してください。

コメント

この項目は管理用にメモ書きを記入する事ができます。

トラップ通知

受信者側IPアドレス

この項目ではYENetAgentで送信されたトラップを受信する受信者のIPアドレスを設定します。最大8つのIPアドレスまで登録できます。

コミュニティ

この項目ではトラップ用のコミュニティ名を設定します。コミュニティ名はSNMPマネージャで設定したものと同一設定にして下さい。

トラップタイプ

この項目では発行するトラップのMIBの種類を設定します。現在はRFC1628のみ選択可能です。

重要度

この項目ではトラップ受信者の為のレベルを設定します。レベルは3つあります。

現在のバージョンでは使用できません。トラップの選択は「イベント」で行ってください。

発行

この項目ではトラップを送信するか否かを設定します。

コメント

この項目は管理用にメモ書きを記入する事ができます。

イベント

この項目は YENetAgent からトラップを送信する為のイベントを選択します。“選択”をクリックするとイベント・リストが開きます。イベント・トラップはここで選択します。

なお、本システムでは「スケジュール・シャットダウン、UPS セルフテスト開始、UPS スリープモード開始、UPS 電圧調整開始、UPS 低負荷状態」はサポートしてません。

発行される Trap や条件の詳細は「8.1 SNMP Trap や Mail のイベントの詳細について」を参照してください。

UPS イベント	YES	NO
スケジュール・シャットダウン	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS エラー	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPSセルフテスト開始	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPSスリープモード開始	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS電圧調整開始	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS過負荷状態	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS通信異常	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS電源OFF	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
AC電源障害	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPSローバッテリー	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS温度異常	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS低負荷状態	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPSバイパス運転開始	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

すべてを選択 すべてをクリア 適用

イベント・リスト

テストボタンは現在のバージョンでは使用できません。

接続されているデバイス

この項目では YENetAgent と同じ UPS に接続されているデバイス、及びおよその負荷容量と接続状況を設定します。ここで設定した内容はあくまで情報を提供するためのものであり、UPS の動作に影響したり、シャットダウンに影響を与えることはありません。

この情報は MIB RFC1628 では取り出すことが出来ません。あらかじめご了承ください。

(この情報は「PPC-MIB または XPPC-MIB(enterprises.ppc(1.3.6.1.4.1.935))」で取り出すことが出来ます。なお、弊社ではこの MIB データは提供しておりません。)

SNMP UDPポート

この項目では YENetAgent の SNMP の受信ポート(SNMP ポート)番号及びトラップ送信ポート番号を設定します。受信ポート(SNMP ポート)は YENetClient で設定したものと同一設定しにして下さい。受信ポート(SNMP ポート)を変更した場合、YENetAgent は自動的に再起動します。

5.2.2.5 E-mail

このページではYENetAgentで使用するE-mailの詳細を設定します。

E-mail

E-mailサーバ

この項目ではE-mailサーバのIPアドレス、または(DNSが有効であれば)ドメイン名を設定します。

【注意】 Hotmail, yahoo, Gmailの様な無料サーバは破棄される可能性がありますので、ご注意ください。

SMTPのポート番号

この項目はE-mail送信の為のSMTPポート番号を設定します。通常は25番を使用しますが、環境によってはポート番号が変更されている場合があります。その際にここで番号を変更します。

SSL上でE-mailの送受信を有効にする

この項目はメールを暗号化して送受信するかを設定します。

E-mail	
E-mail	
E-mail サーバ	<input type="text"/>
SMTPのポート番号	25
SSL上でE-mailの送受信を有効にする	なし
送信者のE-mailアドレス	<input type="text"/>
認証	不要
アカウント名	<input type="text"/>
パスワード	<input type="password"/>
テスト用のE-mailアドレス	<input type="text"/> <input type="button" value="テストメール"/>
受信者のE-mailアドレス(イベントログ用)	
イベント発生時にE-mailを送信する	No
アカウント1	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>
アカウント2	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>
アカウント3	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>
アカウント4	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>
アカウント5	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>
アカウント6	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>
アカウント7	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>
アカウント8	<input type="text"/> <input type="button" value="選択"/>
受信者のE-mailアドレス(日報用)	
アカウント1	<input type="text"/>
アカウント2	<input type="text"/>
アカウント3	<input type="text"/>
アカウント4	<input type="text"/>
日報をE-mailで送信(hh:mm)	No 12:00
イベントログの保存容量が超える時にE-mail送信する(500記録)	No
データログの保存容量が超える時にE-mail送信する(500記録)	No
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="ヘルプ"/>	

E-mail

送信者のE-mailアドレス

この項目はYENetAgentの送信者名を設定します。E-mailサーバによっては正しい形式(例えば yutaka@yutakadenki.co.jp等)でなければ受け付けないもの、さらにE-mailサーバによっては登録されている送信者名やIPアドレスが一致しないと受け付けないことがあります。詳しくはE-mailサーバの管理者にご確認下さい。

認証

この項目はE-mailサーバの認証が必要かどうかを設定します。

アカウント名

この項目はE-mailサーバが認証を要求した時のE-mailのアカウント名を設定します。

パスワード

この項目はE-mailサーバが認証を要求した時のパスワードを設定します。

テスト用のE-mailアドレス/テストメール

“テストメール”をクリックする事で、設定されたテスト用のE-mailアドレスにメールを送信します。

【注意】 E-mailの各項目の設定を変更後にテストメールを送信する場合は、その前に一番下の「適用」ボタンをクリックしてからテストメールを実行して下さい。

受信者のE-mailアドレス(イベントログ用)

この項目ではイベント発生時にYENetAgentから送られるイベント発生時にE-mailを送信する為のE-mailアドレスを設定します。最大8つのE-mailアドレスまで登録できます。

イベント発生時にE-mailを送信する

この項目はイベント発生時にE-mailを送信するかどうかを設定します。

アカウント1~8

この項目はイベント発生時にイベント情報を送信する為のE-mailアドレスを設定します。次のイベントの項目で送信するイベントを選択できます。

イベント

“選択”をクリックするとイベント・リストが開きます。イベント時にE-mailを送信する為のイベントを選択します。

なお、本システムでは「スケジュール・シャットダウン、UPSセルフテスト開始、UPSスリープモード開始、UPS電圧調整開始」はサポートしてません。

発行されるメッセージや条件の詳細は「8.1 SNMP Trap や Mail のイベントの詳細について」を参照してください。

UPS イベント	YES	NO
スケジュール・シャットダウン	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS エラー	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPSセルフテスト開始	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPSスリープモード開始	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS電圧調整開始	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS過負荷状態	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS通信異常	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS電源OFF	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
AC電源障害	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPSローバッテリー	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS温度異常	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPS低負荷状態	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
UPSバイパス運転開始	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

すべてを選択 すべてをクリア 適用

受信者のE-mailアドレス(日報用)

この項目はイベントログとデータログの送信をする為のE-mailアドレスを設定します。

アカウント1~4

この項目は日報を送るためのE-mailアドレスを設定します。

日報をE-mailで送信(hh:mm)

この項目はログを日報として送るかどうか、およびその時間を設定します。

ログは500記録まで送られます。

イベントログの保存容量を超える時にE-mail送信(500記録)

Yesを選択するとイベントログが500に達した時にイベントログをE-mailでYENetAgentから送信します。次回送信時にそのデータは含まれません。

データログの保存容量を超える時にE-mail送信(500記録)

Yesを選択するとデータログが500に達した時にデータログをE-mailでYENetAgentから送信します。次回送信時にそのデータは含まれません。

5.2.2.6 WEB/Telnet

このページはYENetAgentのユーザ・アカウント名を設定します。

最大8ユーザまで設定できます。2ユーザ以上を設定する場合は必ずユーザ名、パスワードを設定してください。

WEB/Telnet			
ユーザ・アカウント名			
ユーザ名	パスワード	アクセス権	IPフィルタ
		読み取り/書き込み	*.*.*.*
		アクセス不可	*.*.*.*
		アクセス不可	*.*.*.*
		アクセス不可	*.*.*.*
		アクセス不可	*.*.*.*
		アクセス不可	*.*.*.*
		アクセス不可	*.*.*.*
		アクセス不可	*.*.*.*

3 分間アイドル後自動ログオフ(0:無効にする)

WEB/Telnet

ユーザ・アカウント名

ユーザ名

この項目ではYENetAgent Webページのユーザ名を設定します。IPフィルタに“*.*.*.*”以外を設定した場合は必ず設定してください。

ブラウザからYENetAgent Webページへ接続する際にユーザ名を入力する必要があります。

パスワード

この項目ではYENetAgent Webページのパスワードを設定します。IPフィルタに“*.*.*.*”以外を設定した場合は必ず設定してください。ブラウザからYENetAgent Webページへ接続する際にパスワードを入力する必要があります。

【備考】ユーザ名、パスワードとも使用可能な文字はダブルクォーテーションを除く英数記号で、半角カナや漢字等の2バイト文字は使用できません。

文字数は共に31文字までです。

アクセス権

この項目では「読み取り」、「読み取り/書き込み」、「アクセス不可」を設定します。

IPフィルタ

この項目ではユーザがブラウザからアクセスできるIPアドレスを設定します。どのコンピュータからでもYENetAgentを操作するには、IPアドレスに、“*.*.*.*”を入力します。特定のコンピュータからのみ操作する場合はそのコンピュータのIPアドレスを設定します。IPフィルタにはワイルドカード“*”が使えます。例えば“192.168.0.* ”と設定した場合、“192.168.0.1～192.168.0.254”の範囲からアクセス可能です。

5.2.2.7 システム時間

このページではYENetAgentのシステム時間を設定します。

システム時間	
システム時間	
自動更新間隔	12時間
タイム・サーバ	ntp.nict.jp
	編集
	更新
	リセット
現在時刻(yyyy/mm/dd hh:mm:ss)	2011/07/29 15:39:11
	適用
	リセット
自動再起動	
毎時システム自動再起動(0:無効)	0
	分
	適用
	リセット
30秒後に手動再起動	
	適用
	ヘルプ

システム時間

システム時間

NTP(Network Time Protocol)を使用し、システム時間を自動的に設定します。

自動更新間隔

この項目はタイム・サーバ(NTPサーバ)への問い合わせ間隔を設定します。

タイム・サーバ

この項目には8か所のタイム・サーバを前もって登録してあります。適切なサーバを選んでください。新しいタイム・サーバを追加する場合は“編集”をクリックし、新しいサーバを追加してください。

DNSを登録していないか、またはDNSを使用できない場合はIPアドレスを登録してください。

現在時刻(yyyy/mm/dd hh:mm:ss)

この項目では手動でYENetAgentの現在時刻を設定します。

自動再起動

毎時システム自動再起動(0 : 無効)

これを使用して、指定間隔毎にYENetAgentのシステムを自動再起動するように設定します。デフォルトの値は“0”に設定されています(0では自動再起動は機能しません)。1から9999分又は1から9999時間の間で数値を入力します。(分では最大166.65時間、時間では最大416.6日間) 通常、使用する必要はありません(0に設定)が、万一長期間の使用で不安定になることがある場合、この機能を使い、定期的に再起動をすることで回避することが出来ます。

30秒後に手動再起動

“適用”をクリックすると30秒後にYENetAgentを再起動します。

5.2.3 ログ情報

YENetAgent ログの記録	
イベントログ	500件
データログ	5000件

5.2.3.1 イベントログ

イベントログは全てのイベントを表示し、イベントの日時と詳細を記録します。500件まで記録でき、容量が限界に達したら、古いものに上書きして書き換えます。ログは“保存”をクリックすることでファイルに保存することも可能です。

イベント ログ	
日付 時刻	イベント
2011/07/18 21:47:26	UPS温度正常
2011/07/18 21:47:23	UPS高温度
2011/07/18 19:28:56	UPS温度正常
2011/07/18 19:28:53	UPS高温度
2011/07/18 19:01:19	UPS温度正常
2011/07/18 19:01:16	UPS高温度
2011/07/18 18:12:20	UPS温度正常
2011/07/18 18:12:17	UPS高温度
2011/07/18 16:35:08	UPS温度正常
2011/07/18 16:35:05	UPS高温度
2011/07/18 15:11:07	UPS温度正常
2011/07/18 15:11:04	UPS高温度
2011/07/17 01:00:56	タイムサーバ接続失敗!
2011/07/15 16:24:33	UPSはバイパス状態になりました。
2011/07/15 15:59:12	UPSは停止されました。
2011/07/15 15:57:40	UPSは休止状態に入っています。出力は停止しています。
2011/07/15 15:57:38	UPSは休止状態に入っています。出力は停止しています。
2011/07/15 15:57:29	UPSは休止状態に入っています。出力は停止しています。
2011/07/15 15:57:28	UPSは休止状態に入っています。出力は停止しています。
2011/07/15 15:57:25	UPSは休止状態に入っています。出力は停止しています。
2011/07/15 15:57:19	UPSは休止状態に入っています。出力は停止しています。
2011/07/14 15:14:08	メール送信に失敗しました。
2011/07/12 17:10:08	UPSは停止されました。
2011/07/12 11:55:36	AC入力が回復しました
2011/07/12 11:54:15	UPSはバッテリーバックアップ運転に変わりました。
2011/07/12 11:50:38	AC入力が回復しました

イベントログ

日付/時刻

イベント発生時の日時の記録です。

イベント

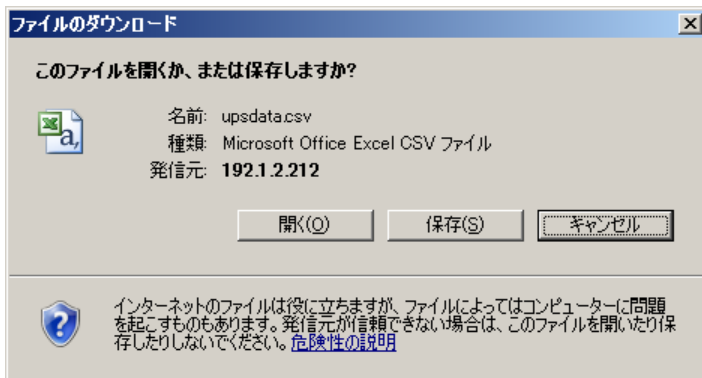
イベントの詳細です。

クリア/保存

“クリア”をクリックするとログを全てクリアします。

保存

“保存”をクリックする事により、操作しているPCにCSVフォーマットで保存できます。



ログの保存

5.2.3.2 データログ

UPSのデータログはUPSの入力電圧/出力電圧/周波数/ 負荷容量/バッテリー容量/温度を記録します。5000件まで記録でき、記録間隔が1分(デフォルト)であれば、約3.5日分記録できます。容量が限界に達したら、古いものに上書きして書き換えます。ログは“保存”をクリックすることでCSVフォーマットでファイルに保存することも可能です。

データログ							
日付/時間	入力電圧	出力電圧	周波数(Hz)	負荷	容量	温度	
2011/08/02 10:48:47	103.0	103.0	50.1	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:47:46	104.0	104.0	50.1	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:46:44	104.0	104.0	50.1	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:45:43	104.0	104.0	50.1	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:44:43	104.0	104.0	50.1	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:43:42	104.0	104.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:42:40	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:41:39	104.0	104.0	50.1	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:40:37	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:39:36	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:38:36	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:37:35	103.0	103.0	50.1	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:36:33	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:35:32	104.0	104.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:34:32	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:33:31	104.0	104.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:32:29	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:31:28	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:30:28	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:29:27	103.0	103.0	49.9	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:28:25	103.0	103.0	50.1	0	94	38.0 °C	
2011/08/02 10:27:24	103.0	103.0	50.1	0	94	38.0 °C	

データログ

日付/時刻

ログを記録した時の日時です。各ログの間隔はUPS設定/UPSの記録/UPSデータログで設定できます。

入力電圧

この項目はUPSの入力電圧を記録して表示します。(単位：V)

出力電圧

この項目ではUPSの出力電圧を記録して表示します。(単位：V)

周波数

この項目ではUPSの入力周波数を記録して表示します。(単位：Hz)

負荷

この項目ではUPSの出力負荷を記録して表示します。(単位：%)

容量

この項目ではUPSのバッテリー容量を記録して表示します。(単位：%)

温度

この項目ではUPS内部の温度を記録して表示します。(単位：℃)

保存

“保存”をクリックする事により、操作しているPCにCSVフォーマットで保存できます。

5.2.4 ヘルプ

5.2.4.1 検索 YENetAgent

ネットワーク上のYENetAgentを検索します。MACアドレス、機種、ファームウェア、IPアドレスを表示します。一つを選び、それをダブルクリックすると、そのYENetAgentのWebページが開きます。

【注意】YENetAgentとは無関係なデバイスが見つかることがあります。YENetAgentはファームウェアに”YU”の文字が入っています。

検索範囲は同一ネットワークアドレス内のみです。同一ネットワークアドレス外のYENetAgentは検出できません。

検索 YENetAgent				
デバイス	MACアドレス	ハードウェア	ファームウェア	IPアドレス
3925888677	00:03:EA:00:4E:A5	HDK520	2.39.DK520	192.1.2.160
3925971461	00:03:EA:01:92:05	HDT520	2.44.DT520.YU	192.1.2.137

更新 ヘルプ

検索 YENetAgent

更新

ネットワーク上の全てのYENetAgentを再検索します。

5.2.4.2 シリアル・ポート デバッグ

この機能はYENetAgentとUPS間の通信内容の確認等に使用します。

【注意】この機能は主に不具合解析等の特殊な用途に使用します。変更などの操作はしないでください。誤った操作を行うとYENetAgentとUPSと通信が出来なくなります。

ポート情報

この項目はYENetAgentとUPS間の通信パラメータの設定です。パラメータはデバッグモード、ポート、ボーレート、データビット、パリティ、ストップビットです。

工場出荷値は以下の通りです。

デバッグモード： 自動
ポート： UPS
ボーレート： 2400
データビット： 8
パリティ： None
ストップビット： 1 bit

変更した場合は上記値に設定しなおし、「適用」ボタンをクリックしてください。

コードの表示方法は、ASCII又は16進数を選択できます。

デバッグモードを手動に設定すると、任意のコードを送信する事ができます。操作が終われば必ずデバッグモードを自動に戻してください。

送信情報

このコラムはコマンドの送信内容を表示します。

受信情報

このコラムはコマンドの受信内容を表示します。

【注意】Java がインストールされているか又は有効にされていないと表示されません。インストールされていない場合は <http://www.java.com/> からJavaがダウンロードできます。

5.2.4.3 ヘルプ

この項目はYENetAgentの操作についてのヘルプの一覧が表示されます。

【注意】Webメニューの全てのヘルプはインターネットを経由したオンライン・ヘルプとなっております。インターネットにアクセスできる環境でなければヘルプは表示されません。あらかじめご了承ください。

5.2.4.4 バージョン情報

バージョン情報

YENetAgentのファームウェア/ハードウェアのバージョンとシリアル番号を表示します。

保存/リセット 設定

現在の設定の保存、回復及びデフォルトへのリセットが可能です。

現在のセッティングを保存

設定をPCへ保存する場合は「保存」をクリックして下さい。ファイル名はYYYY_MMDD_hhmm.cfgになります。

前の設定を回復

上項で保存したcfgファイルで設定を回復、変更します。「参照」をクリックして保存されたcfg

ファイルを指定し、「回復」をクリックするとそのファイルの設定になります。

設定をデフォルトにリセット

この機能は全ての設定を初期状態にリセットします。

バージョン情報	
バージョン情報	
エージェントファームウェア・バージョン	2.44.DT520.YU02
エージェントハードウェア・バージョン	HDT520
エージェント・シリアルナンバー	3926490520
保存/リセット 設定	
現在のセッティングを保存	<input type="button" value="保存"/>
前の設定を回復	<input type="button" value="参照..."/> <input type="button" value="回復"/>
設定をデフォルトにリセット	<input type="button" value="リセット"/>

バージョン情報

6 章 Telnet によるリモート設定

6.1 はじめに

YENetAgentはtelnetからもある程度の設定が可能です。

但し、YENetSearcherでtelnetを無効にしている場合は操作できません。

6.2 Telnet の起動

①Windows の場合、コマンドプロンプトで

```
telnet 192.168.0.10
```

の様に入力します。

【備考】ポート番号を変更している場合や Vista 以降は「4.2.2.2 拡張設定：プロトコル設定」を参照してください。

②接続が成功した場合は次のようになります。



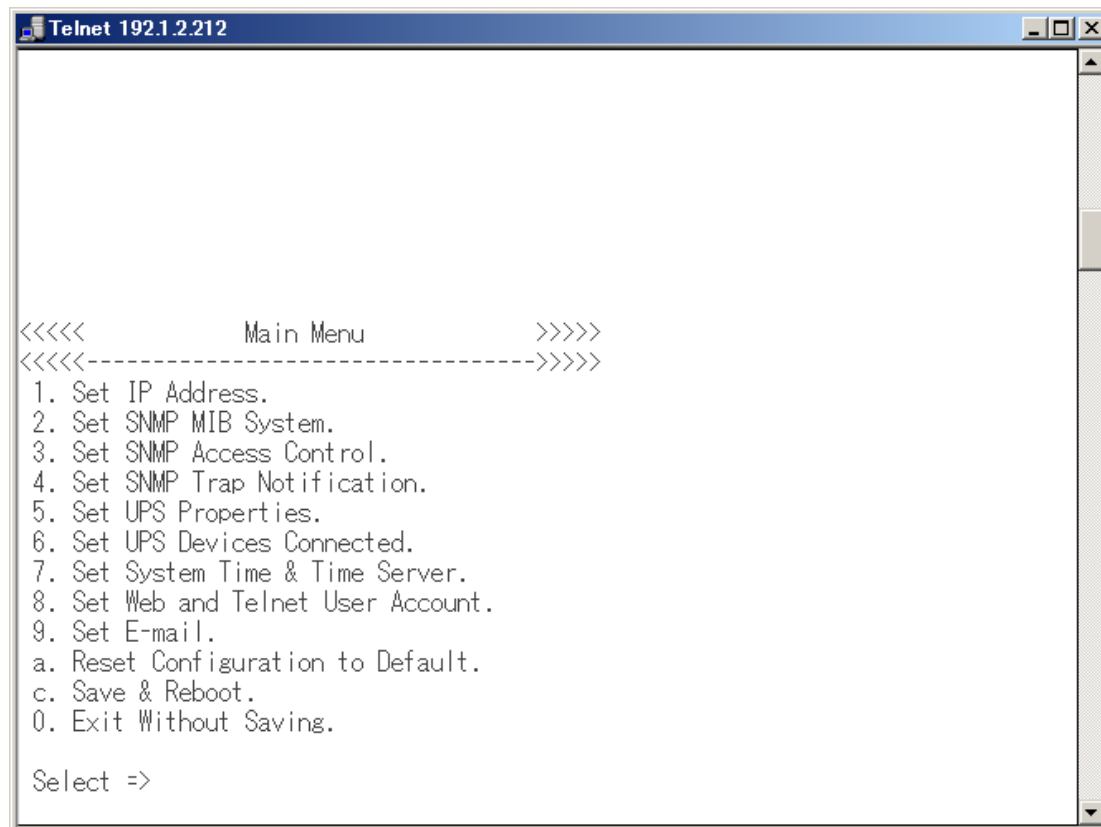
Telnet 接続

③“Enter”を押すとユーザ名の問い合わせがあります。ユーザ名とパスワードが設定しているのであればそれを入力して下さい。ユーザ名とパスワードを設定していない場合は“Enter”だけを押して下さい。

```
User Name: User1
Password: ****
```

Telnet: ユーザ名/パスワードの入力

④正常にログインできれば下記のようなメインメニューが表示されます。



YENetAgent Telnetのメインメニュー

1. Set IP Address(YENetAgentのネットワーク設定)

この項目はYENetAgent自身のネットワーク関係の設定を行います。

```

<<<<<          Set IP Address          >>>>>
<<<<<----->>>>>
 1. IP Address. (192.1.2.212)
 2. Gateway Address. (192.1.2.254)
 3. Subnet Mask. (255.255.255.0)
 4. Primary DNS Server IP. ()
 5. Secondary DNS Server IP. ()
 0. Return to Main Menu.

```

2. Set SNMP MIB System(SNMP MIBシステムの設定)

この項目はSNMPのMIB関係の設定を行います。

```

<<<<<          Set SNMP MIB System          >>>>>
<<<<<----->>>>>
 1. System Contact. (Administrator)
 2. System Name. (UPS Agent)
 3. System Location. (My Office)
 0. Return to Main Menu.

```

「1.System Contact」は「管理者名」、「2. System Name」は「システム名」、「3. System Location」は「システム設置場所」です。

3. Set SNMP Access Control(SNMPアクセス・コントロール)

この機能はマネージャのIPアドレス、コミュニティ名、アクセス権の設定をします。
この設定はYENetClient、SNMPマネージャの為に使われます。

SNMP Access Control Settings:

Manager IP	Community	Permission
1) *.*.*.*	public	Read/Write
2) *.*.*.*	public	No Access
:	:	:
8) *.*.*.*	public	No Access

<<<<< SNMP Access Control >>>>>

<<<<<----->>>>>

- 1. Add.
- 2. Delete.
- 0. Return to Main Menu.

「1.Add」で1)から順に追加していきます。全てを埋めるとDeleteするまで追加できません。
「2.Delete」で番号を選び、設定を削除します。

4. Set SNMP Trap Notification(SNMP Trapの通知設定)

SNMPマネージャのTrap機能を実行する場合、SNMPマネージャが登録されているPCのIPアドレスをYENetAgentのリストに加えます。

【注意】この設定はSNMPマネージャの為にだけに使われます。YENetClientでは使用しません。

SNMP Trap Notification Settings:

Receiver IP	Community	Trap Type	Severity	Accept
1)	public	RFC1628	INFORMATIONAL	NO
2)	public	RFC1628	INFORMATIONAL	NO
:	:	:	:	:
8)	public	RFC1628	INFORMATIONAL	NO

<<<<< SNMP Access Control >>>>>

<<<<<----->>>>>

- 1. Add.
- 2. Delete.
- 0. Return to Main Menu.

「1.Add」で1)から順に追加していきます。全てを埋めるとDeleteするまで追加できません。
「2.Delete」で番号を選び、設定を削除します。

5. Set UPS Properties(UPSプロパティの設定)

UPSのバッテリーの使用開始日、または交換日を指定します。

```
<<<<<          Set UPS Properties          >>>>>
<<<<<----->>>>>
1..Last Battery Replacement Date.(yyyy/mm/dd)  ()
0. Return to Main Menu.
```

「1. Last Battery Replacement Date.」はバッテリーの使用開始日、または交換日を指定します。

6. Set UPS Devices Connected(UPSに接続されるデバイスの設定)

この項目では UPS に接続されているデバイス、及びおよその負荷容量と接続状況を設定します。この項目の設定値はコメントであり、設定内容によって動作が変わることはありません。

Devices Connected Settings:

System Name	Rating	Connected

1	0 (%)	NO
2	0 (%)	NO
3	0 (%)	NO
4	0 (%)	NO

```
<<<<<    Set Devices Connected    >>>>>
<<<<<----->>>>>
1. Add.
2. Delete.
0. Return to Main Menu.
```

「1.Add」で4から順に追加していきます。全てを埋めるとDeleteするまで追加できません。

「2.Delete」で番号を選び、設定を削除します。

「Rating」の合計が100%になる必要はありませんし、100%以上になってもかまいません。

7. Set System Time & Time Server(システム時間とタイムサーバの設定)

システム日時を2つの方法で設定します。

```
<<<<<    Set System Time & Time Server    >>>>>
<<<<<----->>>>>
1. Set Date(yyyy/mm/dd HH:MM:SS). (2011/08/02 16:25:57)
2. Automatically Check Every (720) Minutes
```


3. Set Time Server. (ntp.nict.jp)

0. Return to Main Menu.

「1. Set Date」は手動で時刻を設定します。

「2. Automatically Check Every」はタイムサーバ方式を使用した際の問い合わせ間隔です。

「3. Set Time Server.」はタイムサーバ(NTP)方式のサーバのアドレスを指定します。

8. Set Web and Telnet User Account(WebとTelnetユーザアカウントの設定)

Webやtelnetでアクセスする際のユーザのアカウント権の設定をします。

Web and Telnet User Account:

User Name	Password	Access Rights	IP Address

1)		Read/Write	*.*.*.*
2)		No Access	*.*.*.*
:		:	:
8)		No Access	*.*.*.*

<<<<< User Account >>>>>

<<<<<----->>>>>

1. Add.

2. Delete.

0. Return to Main Menu.

「1.Add」で1)から順に追加していきます。全てを埋めるとDeleteするまで追加できません。

「2.Delete」で番号を選び、設定を削除します。

9. Set E-mail(E-mailの設定)

警告E-mailを送信する為のE-mailアドレスを設定します。

<<<<< Set E-mail >>>>>

<<<<<----->>>>>

1. Email Server Name or IP. ()

2. Email Server Port. (25)

3. Email Server Requires Authentication. (NO)

4. Email Account Name. ()

5. Email Password. ()

6. Sender Account. ()

7. Event Email Recipient. ()

8. Send Email When Trap Occurs. (NO)

9. Send Email for Daily Report. (NO)

a. Daily Report Email Recipient.() at (12:00:00)

0. Return to Main Menu.

「1. Email Server Name or IP」はE-mailサーバのIPアドレス、または(DNSが有効であれば)ドメイン名を設定します。

【注意】 Hotmail, yahoo, Gmailの様な無料サーバは破棄される可能性がありますので、ご注意ください。

「2. Email Server Port.」はE-mail送信の為のSMTPポート番号を設定します。通常は25番を使用しますが、環境によってはポート番号が変更されている場合があります。その際にここで番号を変更します。

「3. Email Server Requires Authentication.」はE-mailサーバの認証が必要かどうかを設定します。

「4. Email Account Name.」はE-mailサーバが認証を要求した時のE-mailのアカウント名を設定します。

「5. Email Password.」はE-mailサーバが認証を要求した時のパスワードを設定します。

「6. Sender Account.」はYENetAgentの送信者名を設定します。E-mailサーバによっては正しい形式(例えば yutaka@yutakadenki.co.jp等)でなければ受け付けないもの、さらにはE-mailサーバに登録されている送信者名やIPアドレスが一致しないと受け付けないことがあります。詳しくはE-mailサーバの管理者にご確認下さい。

「7. Event Email Recipient.」イベント発生時にE-mailを送信する為のE-mailアドレスを設定します。1ヶ所のみ登録できます。

「8. Send Email When Trap Occurs.」イベントが発生したときにメール送信を行うかどうかを設定します。

「9. Send Email for Daily Report.」日報を送るかどうかが設定します。

「a. Daily Report Email Recipient.」日報を送るためのE-mailアドレスを設定します。

a. Reset Configuration to Default

telnetでログインしてから変更した内容を元の状態に戻します。

b. Save & Reboot(保存と再起動)

全ての変更を含む現在の設定データを保存し、YENetAgentを再起動します。

0. Exit Without Saving(保存しないで終了)

設定変更を保存せず、終了します

7 章 Windows シャットダウン・ユーティリティ-YENetClient の使い方

YENetClient は YENetAgent と共に使用するユーティリティです。このユーティリティは、Windows 用です。サポートしている Windows のバージョンは XP、2003(R2 を含む)、Vista、2008(R2 を含む)、7 のそれぞれ x86 と x64 です。YENetClient は YENetAgent から、停電、バッテリー不足、システムのシャットダウン信号を検出すると、システム(PC)をシャットダウンします。

7.1 YENetClient の状態

YENetClient を PC にインストールすると YENetClient サービスプログラムが自動的に起動するようになっています。YENetClient サービスプログラムが起動しているとタスクトレイに YENetClient のアイコンが表示されます。停電等が発生すると YENetClient サービスプログラムが設定された指示に基づき、シャットダウンを行います。

タスクトレイ中のアイコンの状態と意味は次の通りです。



正常に YENetAgent と通信しています。



YENetAgent と通信が出来ていません。

YENetClient に登録されている YENetAgent の IP アドレスが正しくない場合や YENetAgent が停止している場合、LAN ケーブルが接続されていない場合などはこのような状態になります。

また、YENetClient をインストールした直後は YENetAgent の IP アドレス等が指定されていませんので、この状態になります。

IP アドレスが設定されていない場合は「**7.3.1.1 基本設定**」に従って正しく設定してください。



YENetAgent で停電等の異常を検出しています。

このアイコンを右ボタンでクリックすると下記の様なメニューが表示されます。



① オープン YENetClient

YENetClient を起動します。「**7.2 YENetClient の起動**」を行うのと同じです。

② バージョン情報 YENetClient

YENetClient のバージョン情報を表示します。

③ YENetClient を終了します

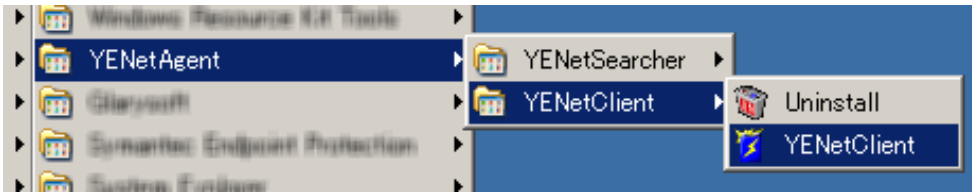
YENetClient サービスプログラムを含む YENetClient の全ての処理を終了します。UPS が停電を検出してもシャットダウン処理は行われません。

YENetClient の全機能を確実に再起動するためには PC を再起動してください。

7.2 YENetClient の起動

設定を行う場合や現在の状態を表示したい場合は YENetClient を起動します。

YENetClient を起動するには Windows の「スタート」メニューの「プログラム(WindowsXP)」、または「すべてのプログラム(Windows Vista/7)」中に「YENetAgent¥YENetClient」グループが作成されています。“YENetClient”をクリックして起動します。



YENetClient グループ

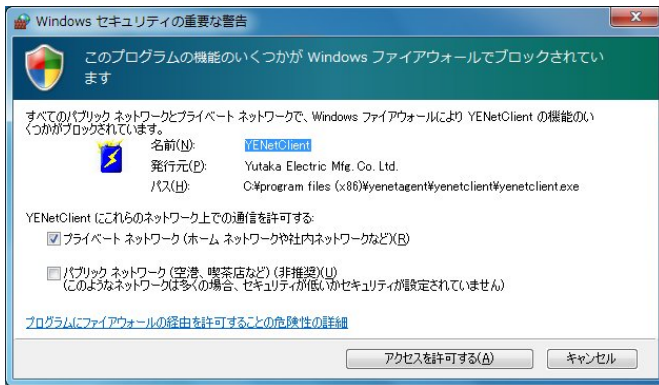
7.3 YENetClient の使用方法

YENetClient メイン・ウィンドウから各メニューに入るために左側のアイコンをクリックして下さい。

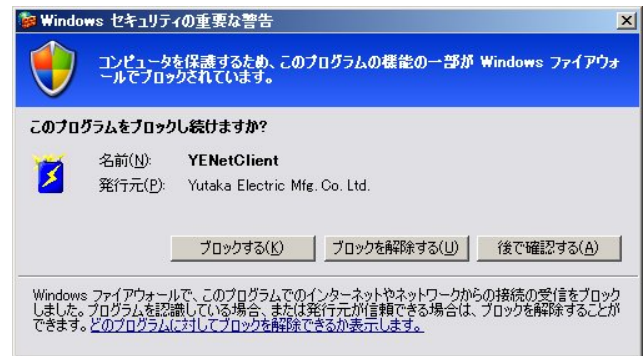


ウィンドウの右側にあるのが UPS の現在の状態です。

初めて起動するときは下記のようなメッセージが出ることがありますが、「アクセスを許可する」または「ブロックを解除する」をクリックしてください。



Windows 7の場合

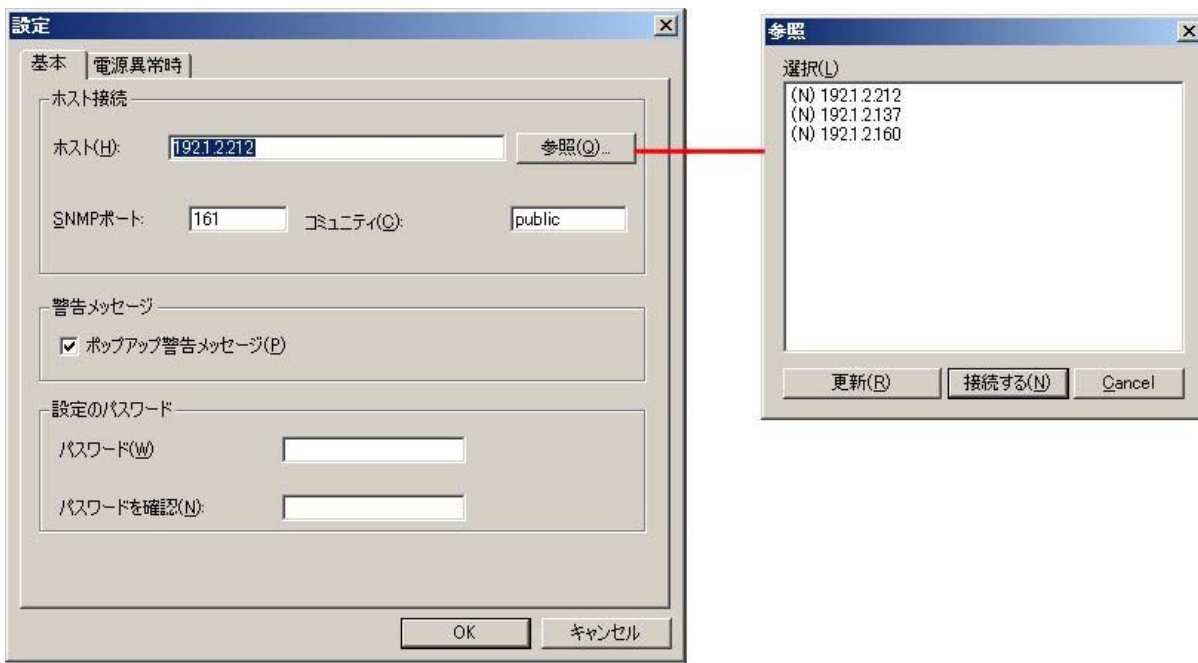


Windows XPの場合

7.3.1 YENetClient の設定

YENetClient が YENetAgent から停電やバッテリー不足の信号を受けた時、下記設定に基づき、YENetClient はシャットダウン処理を開始します。設定の詳細は下記の通りです。

7.3.1.1 基本設定



YENetClient: 基本

① ホスト

接続するYENetAgentのIPアドレスを設定します。

“参照”ボタンを押す事で、自動的にネットワーク上のYENetAgentを検索できます。

参照の一覧の左端に(N)があるものがYENetAgentです。接続したいYENetAgentを選び“接続する”をクリックすると「ホスト」の項目にIPアドレスが登録されます。なお、他社の物でも(N)がついて検出されることがありますので、ご注意ください。

YENetAgentが異なるネットワークセグメント上に存在する場合は「ホスト」の項目に直接IPアドレスを入力して下さい。

② SNMPポート

SNMPでの通信ポートを設定します。YENetAgentのSNMPメニューの「YENetAgent SNMPポー

ト」と一致させてください。通常は「161」です。

③ コミュニティ名

YENetAgentとYENetClientのコミュニティ名と一致させてください。一致させることでYENetAgentと通信する事が可能になります。

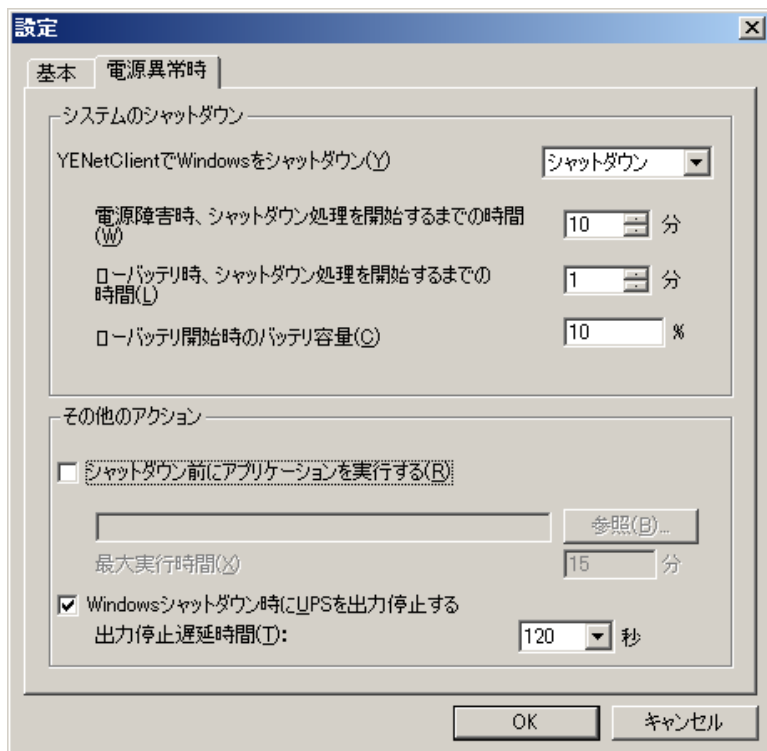
④ ポップアップ警告メッセージ

警告が発生した場合、PCの画面にポップアップで警告を表示します。

⑤ 設定のパスワード

YENetClient自身にパスワードを設定します。パスワードを設定すると変更を行い「OK」をクリックすると確認のためのパスワードを問い合わせてきます。パスワードを削除する際もパスワードの確認がありますので、パスワードは忘れないようにしてください。

7.3.1.2 電源異常時設定



YENetClient: 電源異常時

① YENetClientでWindowsをシャットダウン

停電時、Windowsシステムを停止する際、「シャットダウン」にするか「休止状態」にするかを設定します。Windows自身で「休止状態」が有効になっていない場合は「休止状態」は表示されません。

【注意】「休止状態」について

「休止状態」とはWindowsの停止方法の1つで、PCの現在の状態を全てディスクに書き出した後にPCの電源を切ります。その後、PCの電源を入れると休止前の状態に戻ります。

「休止状態」は搭載しているハードウェアやソフトウェアによっては正常に動作しない、または有効にならないことがあります。また、最初は正常に動作していても追加したハードウ

エア、ソフトウェアや設定によっては正常に動作しなくなることがあります。

Windows自身の「休止状態」を有効にする方法はWindowsのバージョン毎に異なります。

Windows XPでは「コントロールパネル→電源オプション」の順に開き、「休止状態」のタブを開き、「休止状態を有効にする」にチェックを入れます。

Windows Vista/7では標準で「休止状態」が有効になっております。

YENetClientによる「休止状態」での停止はWindows自身の機能呼び出ししているだけであり、正常に停止や起動が出来なくてもYENetClientの問題ではございません。あらかじめご了承の上、ご使用下さい。

正常に機能しない場合は「休止状態」を使用せず「シャットダウン」をご使用下さい。

また、弊社ではWindows自身の設定に関するお問い合わせはお答えいたしかねます。

② 電源障害時、シャットダウン処理を開始するまでの時間

停電が発生後、システムシャットダウン処理を行うまでの時間を設定します。この時間以内に停電が回復したなら、シャットダウン処理を行いません。

複数のPCにYENetClientをインストールしする場合、「7.3.1.3 複数のPCにYENetClientをインストールする際の注意」をご参照の上、この時間を設定してください。

③ ローバッテリー時、シャットダウン処理を開始するまでの時間

バッテリー容量不足時、システムシャットダウン処理を行うまでの時間を設定します。

④ ローバッテリー開始時のバッテリー容量

ローバッテリーと判断する際の容量を設定します。UPS自身でもローバッテリーの判定(約30%で検出)は行っておりますので、いずれか先に検出されればシャットダウンを実行します。

なお、バッテリー容量は厳密なものではなく、例えば50%と設定した場合、ローバッテリーと判断されるまでに5分かかったとしても、バッテリー容量が無くなるまで更に5分もつわけではありませんので、余裕を見て多めの値を設定してください。

【備考】バッテリー容量はバッテリーの電圧から求めています。また、バックアップ運転時間に比例して減るわけではなく、負荷率やバッテリーの劣化具合にもよりますが、最初の30秒～1分ほどで大きく減り、その後、30～40%まではゆっくり減り、それを下回ると減り方が早くなります。そのため、最低30%以上は設定してください。

⑤ シャットダウン前にアプリケーションを実行する

シャットダウン処理を行う前に指定したアプリケーションを実行します。

プログラムは絶対パス(フルパス)で指定してください。

パス中にスペースがあってもダブルクォーテーション「"」で囲む必要はありませんが、囲んでもかまいません。

例えば「C:¥Program Files (x86)¥test」というフォルダに「prog.exe」というプログラムがあり、引数として「-t 00」を指定する場合

「C:¥Program Files (x86)¥test¥prog.exe -t 00」

と指定してください。

実行プログラムにbatプログラムを指定する場合は下記のようにbatプログラムの前に

「C:¥windows¥system32¥cmd.exe /c」を追加し、batプログラムパスにスペースが含まれる場合はダブルクォーテーション「"」で囲んでください。

「 C:¥windows¥system32¥cmd.exe /c "C:¥Program Files¥test¥sample.bat" 」

【注意】

指定できるプログラムはコンソールプログラムのみです。GUIを伴うような「メモ帳(notepad.exe)」などは正常に動作しません。

管理者権限が必要なプログラム(例えばWindowsをシャットダウンするためのプログラムshutdown.exe)はPCの環境によっては動作しないことがあります。

【備考】

batプログラム中で一定時間処理を停止(遅延)したい場合は次のような方法があります。

C:¥Windows¥system32¥ping.exe -n 30 127.0.0.1

ping.exeは約1秒毎に指定したIPアドレスに対して問い合わせを行います。"127.0.0.1"は自分自身を表します。"-n xx"は繰り返し回数を指定します。例えば"-n 30"は30回問い合わせを行うので、このプログラムが終わるまで約30秒間かかります。この回数を変えることで任意の時間、処理を停止(遅延)することが出来ます。

⑥ 最大実行時間

「⑤ シャットダウン前にアプリケーションを実行する」を有効にしている場合のみ設定可能です。⑤で指定したアプリケーションが終了するまでの最大待機時間です。ここで指定した時間を経過してもアプリケーションが終了しない場合はタイムアウトと見なし、アプリケーションの終了の有無にかかわらずYENetClientのシャットダウン処理を継続します。

逆にここで指定した時間より早くアプリケーションが終了した場合、この時間は無視され、YENetClientのシャットダウン処理を継続します。

⑦ Windowsシャットダウン時にUPSを出力停止する

システムをシャットダウンした後、UPSの電源を停止するかどうか設定します。

複数のPCにYENetClientをインストールしする場合、「7.3.1.3 複数のPCにYENetClientをインストールする際の注意」をご参照の上、1つのYENetClientのみ、設定を有効にしてください。

⑧ 出力停止遅延時間

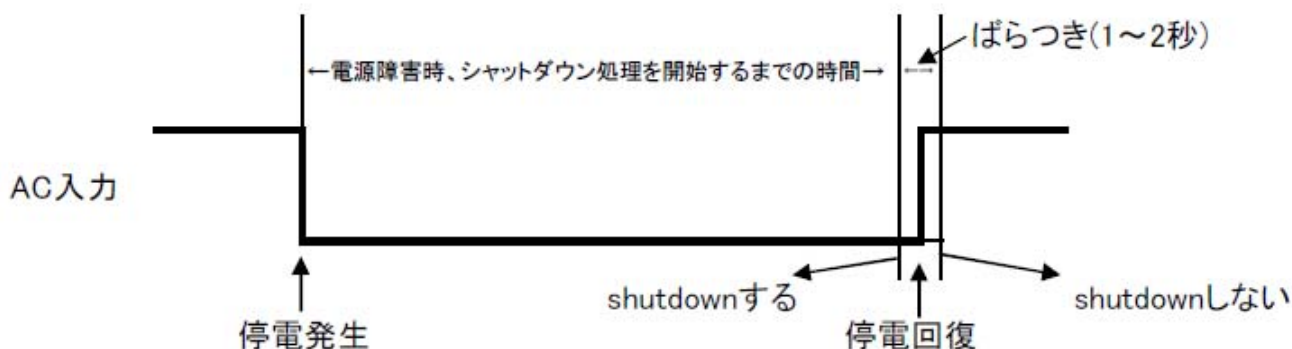
「⑦ Windowsシャットダウン時にUPSを出力停止する」を有効にしている場合のみ設定可能です。Windowsのシャットダウン処理を始めた後(「⑤ シャットダウン前にアプリケーションを実行する」が設定していればアプリケーション終了後)に、UPSの出力を停止するまでの時間を秒で設定します。短すぎるとWindowsのシャットダウンが完了する前にUPSが出力を停止することがあります。また、同様に複数のPCでYENetClientが動作している場合、シャットダウンに最も時間がかかるPCを考慮した時間を設定してください。

7.3.1.3 複数のPCにYENetClientをインストールする際の注意

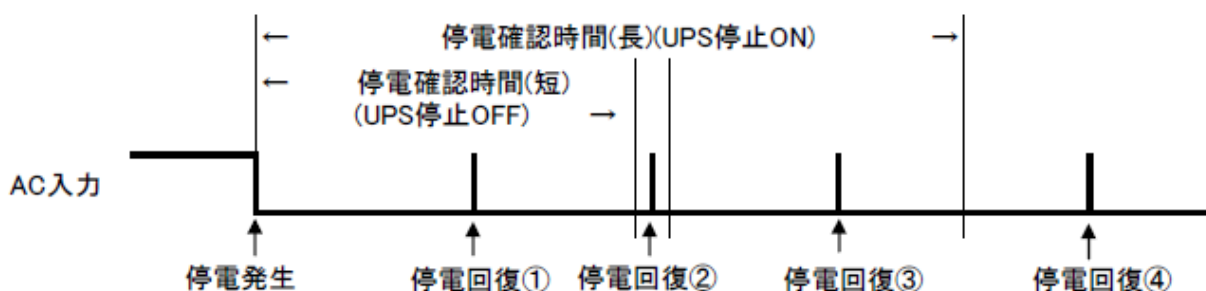
複数のPCにYENetClientをインストールする際は次のことにご注意下さい。

「電源障害時、シャットダウン処理を開始するまでの時間(以下“停電確認時間”とします)」を全て同じ時間に設定しても、YENetClientが停電を検出する時間には1~2秒程度のばらつき

があります。そのため、停電発生後、「停電確認時間」経過頃に停電が回復すると、停電継続と判断しシャットダウン処理を行うYENetClientと、復電したと判断し、シャットダウンをしないYENetClientに分かれることがあります。また、シャットダウン処理を行ったYENetClientがUPSに対して「⑥Windowsシャットダウン時にUPSを出力停止する」のチェックが入っているとシャットダウンしていないPCがあるにもかかわらず、UPSが出力を停止することがあります。



これを避けるには「⑥Windowsシャットダウン時にUPSを出力停止する」のチェックを入れるYENetClientを1つだけにし、そのYENetClientの「停電確認時間」を他のYENetClientより長く設定してください。これによりシャットダウンしていないPCがあるのにUPSが出力を停止する、という現象は回避できますが、停電が回復する時間によってはシャットダウンするPCとしないPCに分かれることがあります。あらかじめご了承ください。



停電回復タイミング	停電確認時間(短)	停電確認時間(長)	UPS動作
停電回復①	復電動作になる	復電動作になる	運転継続
停電回復②	タイミングにより復電する、シャットダウンする物に分かれる	復電動作になる	運転継続
停電回復③	シャットダウンする	復電動作になる	運転継続
停電回復④	シャットダウンする	シャットダウンする	出力停止

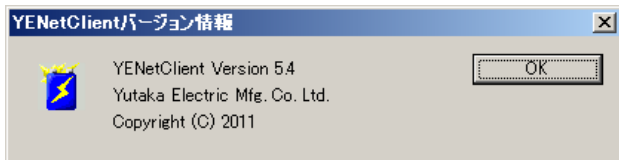
7.3.2 イベントログ

全てのネットワーク状態と UPS で発生したイベントを表示します。



7.3.3 YENetClient について

YENetClient のバージョン情報を表示します。



7.3.4 ネットワークの接続状態

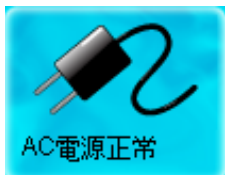


IP アドレス 192.1.2.212 で YENetAgent に接続しています



YENetAgent に接続されていません

7.3.5 AC 電源状態



UPS への AC 入力は正常です



UPS への AC 入力に異常が発生しています

その他、「バイパス運転」があります。

7.3.6 バッテリ状態



UPS のバッテリーは正常です

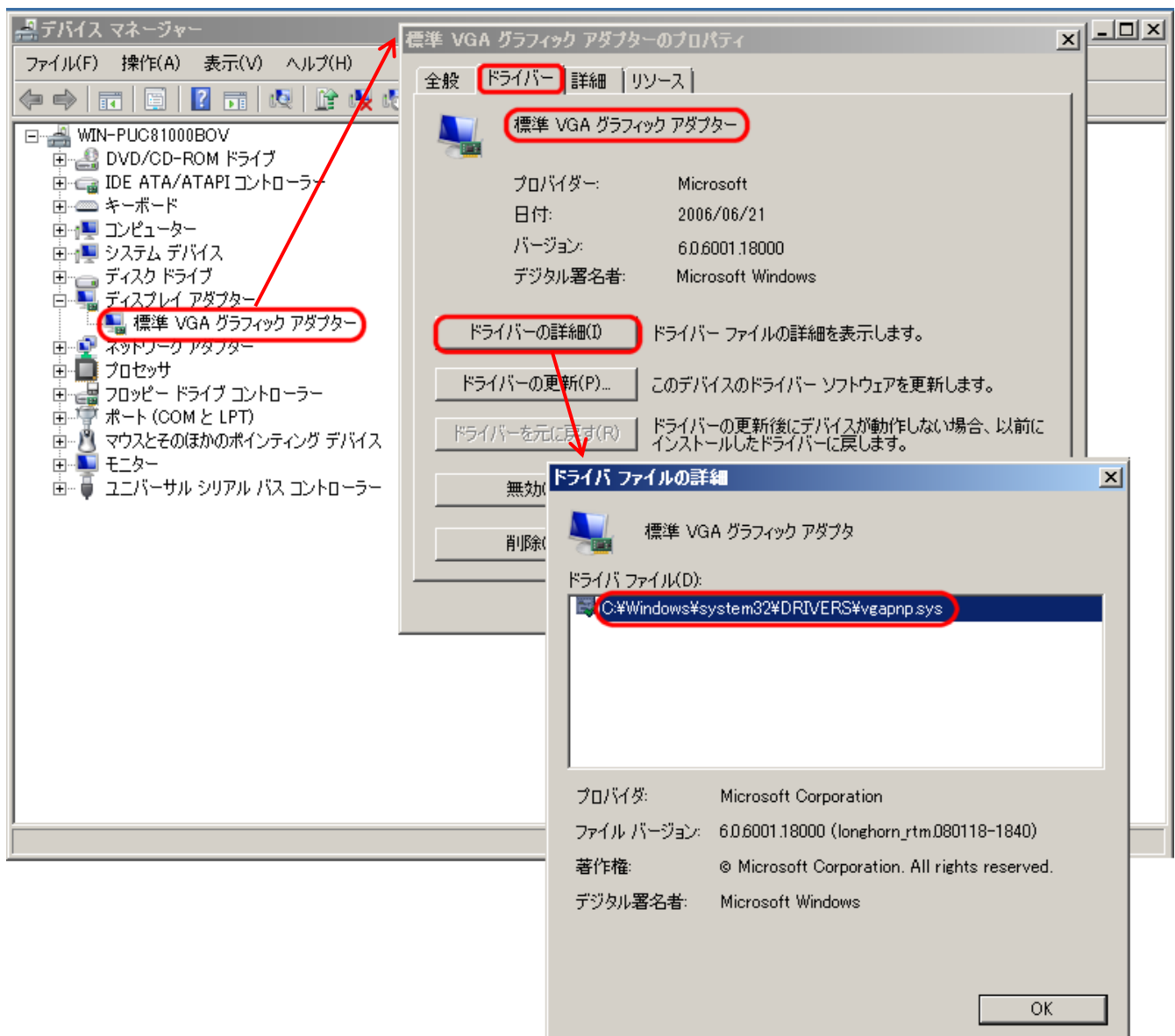


UPS のバッテリーの容量が低下しています

7.3.7 Windows Server 2003 (R2 を含む)、Vista で YENetClient をご使用になる場合の注意

Windows Server 2003 (R2 を含む)、Vista で YENetClient をご使用になる場合、必ず専用グラフィックドライバをインストールして下さい。Microsoft 標準 VGA グラフィックドライバ `vgapnp.sys` のままご使用になるとドライバがメモリリークを発生し Windows がハングアップすることがあります。

(下図は Windows Vista の例です。下図のドライバのまま、ご使用にならないで下さい)



8 章 その他

8.1 SNMP Trap や Mail のイベントの詳細について

イベント名	発行条件	SNMP Trap の種類	Mail のメッセージ
スケジュール	発行しません	×	×
UPS エラー	UPS 本体で故障が発生した際、復帰した際に発行されます。 UPS 本体の ALARM ランプが点灯します。	(発) +upsAlarmGeneralFault (復) -upsAlarmGeneralFault	(発) UPS 故障が発生しました (復) UPS 故障から回復しました
UPS セルフテスト開始	発行しません	×	×
UPS スリープモード開始	発行しません	×	×
UPS 電圧調整開始	発行しません	×	×
UPS 過負荷状態	Web メニューの UPS 設定の最大継続負荷容量(%)を越えた場合や復帰した場合に発行されます。	(発) +upsAlarmOutputOverload (復) -upsAlarmOutputOverload	(発) UPS 過負荷 (復) UPS 負荷は正常
UPS 通信異常	UPS 本体とボードが通信できない場合に発行されます。通常、UPS のコマンドの指定が異なっている場合に発生します。本体の DIP スイッチの設定をご確認下さい。	(発) +upsAlarmCommunicationsLost (復) -upsAlarmCommunicationsLost	(発) UPS との通信は失敗しました (復) UPS との通信が確立しました
UPS 電源 OFF	停電での UPS 出力停止や Web メニューのリモート操作の「UPS 出力停止」時に発行されます。 UPS 本体のスイッチの ON/OFF では mail のみ送信されます。	(UPS に停止指示を出したとき) +upsAlarmUpsOutputOff +upsAlarmOutputOffAsRequested (UPS が実際に停止したとき) -upsAlarmUpsOutputOff -upsAlarmOutputOffAsRequested (出力を開始したときの trap はありません)	(UPS に停止指示を出したとき) UPS は停止されました (UPS が実際に停止したとき) 出力を停止しました (出力を開始したとき) 出力を開始しました
AC 電源障害	停電が発生した際や復電した際に発行されます。	(発) +upsAlarmInputBad upsTrapOnBattery *1 (復) -upsAlarmOnBattery -upsAlarmInputBad	(発) UPS はバッテリーバックアップ運転に変わりました (復) AC 入力回復しました
UPS ローバッテリー	UPS 本体がローバッテリーを検出した際に発行されます。	(発) +upsAlarmLowBattery (復) -upsAlarmLowBattery	(発) バッテリー残容量が少ないため、UPS はまもなく停止します (復) UPS はローバッテリー状態から復帰しました
UPS 温度異常	Web メニューの UPS 設定の温度しきい値を越えた場合や復帰した場合に発行されます。	(発) +upsAlarmTempBad (復) -upsAlarmTempBad	(発) UPS 高温度 (復) UPS 温度正常
UPS 低負荷状態	Web メニューの UPS 設定のローバッテリーシャットダウン容量を下回った場合や復帰した場合に発行されます。	Trap は発行されません	(発) バッテリー容量が不足しています (復) バッテリー容量は正常です
UPS バイパス運転開始	UPS 故障や過負荷でバイパス状態になった際に発行されます。	(発) +upsAlarmOnBypass (復) -upsAlarmOnBypass	(発) UPS はバイパス状態になりました (復) UPS はバイパス状態から復帰しました

上記は YENetAgent ファームウェアバージョン「2.44.DT520.YU07」で正しく発行されます。それ以前のバージョンでは正しく発行されない物があります。

SNMP Trap の種類の頭に"+、-"がついているものについて

＋：upsTrapAlarmEntryAdded の詳細情報 upsAlarmDescr で通知される情報

－：upsTrapAlarmEntryRemoved の詳細情報 upsAlarmDescr で通知される情報

*1：停電が続いている間、1 分間隔に発行されます。

■営業に関するお問合せ先

【本 社 UPS 営業グループ】

〒141-0031 東京都品川区西五反田7-25-5 ニッセイ五反田アネックス

TEL 0120-455125

TEL 03-5436-2780

<http://www.yutakadenki.jp/> UPSSALES@po.yutakadenki.co.jp

【大阪営業所】

〒540-0036 大阪市中央区船越町1-3-4 ツリーモント宝永

TEL 06-6945-0818

■製品のお取り扱い、メンテナンスやトラブルに関するお問合せ先

【UPS フィールドサービス】

〒368-0005 埼玉県秩父市大野原1200番地

TEL 0494-24-9321 , FAX 0494-24-6457

株式会社ユタカ電機製作所